

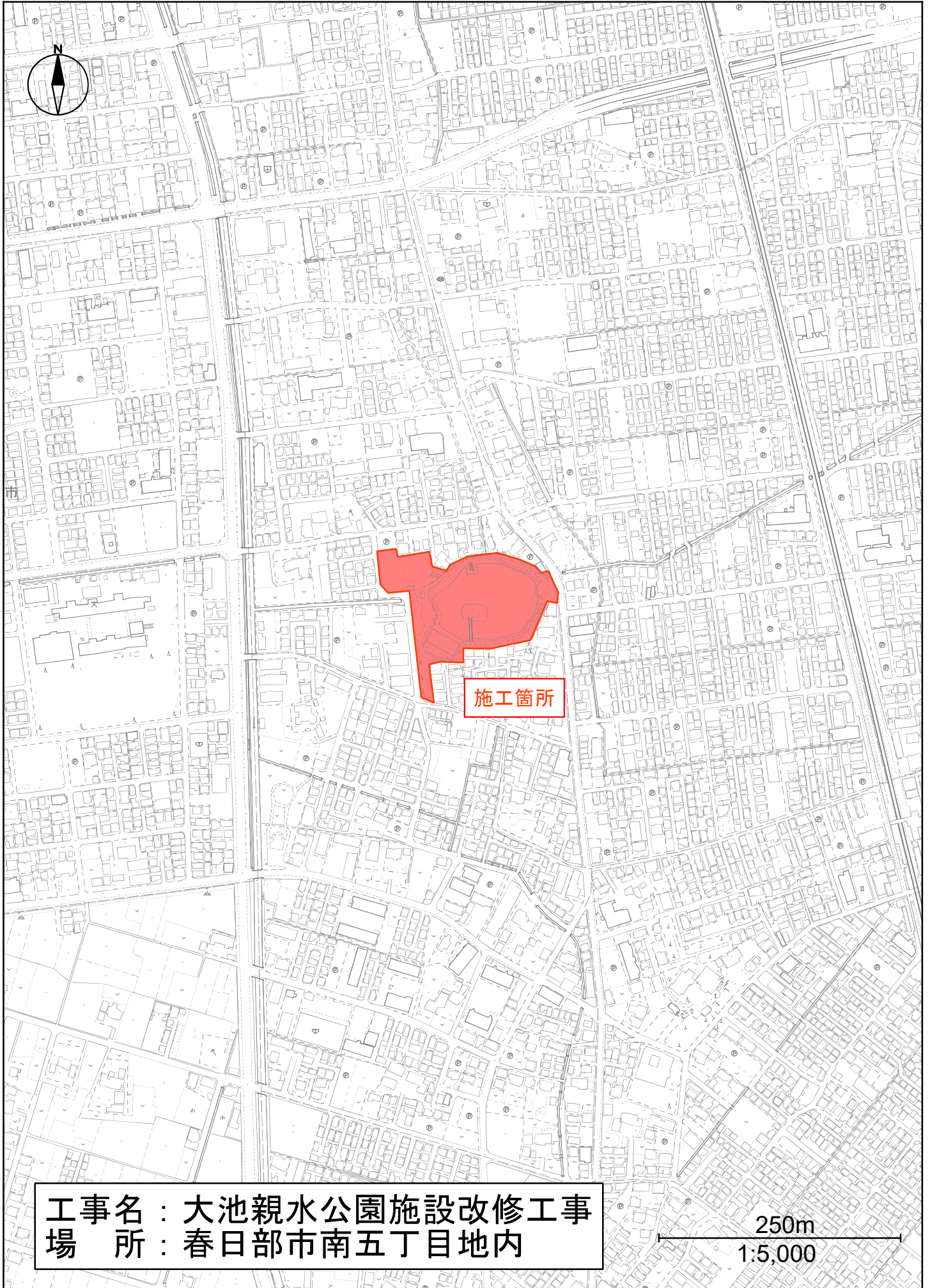
令和7年度

工 事 仕 様 書

市単

工 事 名	大池親水公園施設改修工事						
工 事 場 所	春日部市南五丁目地内						
公 園 名 称	大池親水公園						
事 業 名							
工 事 大 要							
土木工事 ・スルースゲート更新 2 基 機械設備工事 ・曝気プロワ更新 2 基 電気設備工事 ・曝気プロワ盤更新 1 面							

案内図



変 更 理 由					
備 考					
地 区	(0001) 県南	労務費補正	1.00	機械経費(賃料) 補正	1.00
単価適用年月	(R0703) 令和07年03月				
工 期	当 初	自		至	令和8年3月24日
		日 数			
	変 更			至	
経費適用年月	令和07年03月				
主たる工種	公園工事				
施 工 地 域	市街地 (DID補正) (1) - 3				
設 計	当 初 金 額		変 更 金 額		
	工事価格				
	消費税相当額				
	合計				
請 負	工事価格				
	消費税相当額				
	合計				
	請負増減額				
週休2日区分					

1. 本工事内訳表

費 目	工 種	種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 用
本工事費								
	土木工事			式	1			
	機械工事			式	1			
	電気工事			式	1			
	合計							
		消費税相当額						
	工事費合計							

本 工 事 費 内 訳 書									
工事区分	工種	種別	細別・規格	数	量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土木工事						式			
				1					
└ ゲート更新						式			
				1					
└ └ 仮設						式			
				1					
└ └ └ 仮設工						式			
				1					
└ └ └ └ 土のう						箇所			第1号一位代価表
				1					
└ └ 構造物撤去						式			
				1					
└ └ └ 構造物撤去工						式			
				1					
└ └ └ └ コンクリート切断						m			第2号一位代価表
				16					
└ └ └ └ コンクリート破砕						m3			第3号一位代価表
				1					
└ └ └ └ 既設ゲート撤去 (1)						箇所			第4号一位代価表 φ 600
				1					
└ └ └ └ 既設ゲート撤去 (2)						箇所			第5号一位代価表 φ 200
				1					

本 工 事 費 内 訳 書									
工事区分	工種	種別	細別・規格	数	量	単 位	単 価	金 額	摘 要
— — —	運搬処理工					式			
				1					
— — — —	殻運搬処理					m3			第6号一位代価表
				1					
— — — —	鉄運搬処理					m3			第7号一位代価表
				0.4					
— —	ゲート設置					式			
				1					
— — —	ゲート設置工					式			
				1					
— — — —	スルースゲート設置 (1)					箇所			第8号一位代価表 内ネジ式スルース ゲート φ600
				1					
— — — —	グレーチング蓋設置 (1)					箇所			第9号一位代価表 T-25 細目 開閉 式 盗難防止処理 付
				1					
— — — —	スルースゲート設置 (2)					箇所			第10号一位代価表 内ネジ式スルース ゲート φ200
				1					
— — — —	グレーチング蓋設置 (2)					箇所			第11号一位代価表 T-25 細目 開閉 式 盗難防止処理 付
				1					
—	直接工事費					式			
				1					
— —	共通仮設費計					式			
				1					

本 工 事 費 内 訳 書									
工 事 区 分 工 種 種 別 細 別 ・ 規 格				数	量	単 位	単 価	金 額	摘 要
_ _ _ 共通仮設費（率分）						式			
				1					
_ 純工事費						式			
				1					
_ _ 現場管理費						式			
				1					
_ 工事原価						式			
				1					
_ _ 一般管理費等						式			
				1					
工事価格						式			
				1					

建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。

使用機械の機種・規格及び施工方法は特記仕様書等で定めのある場合を除き、受注者の責任において任意で定め施工すること。ただし、使用機械は、排出ガス対策、低騒音・低振動型建設機械を原則とし、機種や規格については、施工計画書等に明記すること。

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
大型土のう工 製作・設置，購入土，6mを超え20m以下，標準(1.0)	40	袋			第1号施工表
大型土のう撤去工 撤去，6mを超え20m以下，標準(1.0)	40	袋			第3号施工表
ブルーシート 3.6m×5.4m ポリエチレン	16	枚			
ポンプ設置・撤去	1	箇所			第4号施工表
ポンプ運転 0以上40(m ³ /h)未満，作業時排水		日			第6号施工表
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付2t級、吊能力2.9t，有り，5.0km以下	20	t			第1号施工P
建設発生土受入費(石灰) (第1～第3種建設発生土) 地山	11	m ³			
合 計		箇所			

第2号一位代価表

コンクリート切斷

100.000 m 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
舗装版切斷 コンクリート舗装版, 15cmを超え30cm以下, 全ての費用		m			第2号施工P
	100				
合 計		m			
	(1		当り		

第3号一位代価表

コンクリート破砕

100.000 m3 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
構造物とりこわし 鉄筋構造物, 人力施工, 無し, 無し		m3			第9号施工表
	100				
合 計		m3			
	(1		当り		

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
運転手(特殊)		人			
トラック[クレーン装置付] ベーストラック2t積 吊能力2.9t		hr			
機械器具損料		式			
	1				
諸雑費		式			
	1				
合 計		箇所			

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
運転手(特殊)		人			
トラック[クレーン装置付] ベーストラック2t積 吊能力2.9t		hr			
機械器具損料		式			
	1				
諸雑費		式			
	1				
合 計		箇所			

第6号一位代価表

殻運搬処理

100.000 m3 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
殻運搬		m3			第3号施工P
コンクリート(鉄筋)構造物ととりこわし, 機械積込, 有り, 5.7km以下, 全ての費用	100				
廃材持込料		t			
区分 越谷県土整備事務所 適用区分 Co廃材[有筋]	250				
合 計		m3			
	(1		当り		

第7号一位代価表

鉄運搬処理

100.000 m3 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
現場発生品及び支給品運搬		t			第1号施工P
クレーン装置付2t級、吊能力2.9t, 有り, 5.0km以下	785				
金属くず処分		m3			
	100				
合 計		m3			
	(1		当り		

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
運転手(特殊)		人			
トラック[クレーン装置付] ベーストラック2t積 吊能力2.9t		hr			
機械器具損料		式			
	1				
諸雑費		式			
	1				
スルースゲート φ 600		基			
	1				
差筋アンカー D13		本			
	22				
アンカー 25mm以下, 横方向		本			第4号施工 P
	22				

第8号一位代価表

スルースゲート設置 (1)

1.000 箇所 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
型枠		m2			第5号施工P
一般型枠, 小型構造物	4				
コンクリート		m3			第6号施工P
小型構造物, バックホ(クレーン機能付)打設, 18-8-25(高炉), 一般養生, 全ての費用	1				
合 計		箇所			

第9号一位代価表

グレーチング蓋設置 (1)

1.000 箇所 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
グレーチング蓋		組			
T-25、開閉式	1				
蓋設置		組			第7号施工P
200kg以下	1				
型枠		m2			第5号施工P
一般型枠, 小型構造物	1.8				
コンクリート		m3			第6号施工P
小型構造物, バックホ(クレーン機能付)打設, 18-8-25(高炉), 一般養生, 全ての費用	1				
床掘り		m3			第8号施工P
土砂, 上記以外(小規模), 全ての費用	0.1				
合 計		箇所			

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
運転手(特殊)		人			
トラック[クレーン装置付] ベーストラック2t積 吊能力2.9t		hr			
機械器具損料		式			
	1				
諸雑費		式			
	1				
スルースゲート φ200		基			
	1				
アンカー 25mm以下, 横方向		本			第4号施工P
	12				
差筋アンカー D13		本			
	12				

第10号一位代価表

スルースゲート設置 (2)

1.000 箇所 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
コンクリート		m3			第6号施工P
小型構造物, バックホウ(クレーン機能付)打設, 18-8-25(高炉), 一般養生, 全ての費用	1				
型枠		m2			第5号施工P
一般型枠, 小型構造物	2				
合 計		箇所			

第11号一位代価表

グレーチング蓋設置 (2)

1.000 箇所 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
グレーチング蓋		組			
T-25、開閉式	1				
蓋設置		組			第7号施工P
200kg以下	1				
型枠		m2			第5号施工P
一般型枠, 小型構造物	1.6				
コンクリート		m3			第6号施工P
小型構造物, バックホウ(クレーン機能付)打設, 18-8-25(高炉), 一般養生, 全ての費用	1				
床掘り		m3			第8号施工P
土砂, 上記以外(小規模), 全ての費用	0.1				
合 計		箇所			

第 0001 号 一位代価表(施工歩掛表) 大型土のう工

10.00 袋 当り

(WB252730)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
大型土のう袋材 H=1.08m W=1.1m	10.000	袋			
購入土	10.000	m3			
バックホウ運転 製作・設置, 6mを超え20m以下		日			第2号施工表
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジ ブ型] 25t吊		日			
諸雑費 (率・まるめ)	1	式			
合 計	1	袋	当り		

	条件名称	入力名称
J01	作業区分	製作・設置
J02	袋詰土区分	購入土
J03	設置作業半径	6mを超え20m以下
J04	ラフテレーンクレーン賃料 補正	標準(1.0)

第 0002 号 一位代価表(施工歩掛表) バックホウ運転

1.00 日 当り

(WK250500)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
運転手(特殊)		人			
軽油		L			
バックホウ(クローラ)[標準・クレーン機能付き] 山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊		日			
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合 計	1	日	当り		

条件名称
J01 作業区分
J02 設置作業半径

入力名称
製作・設置
6mを超え20m以下

第 0003 号 一位代価表(施工歩掛表) 大型土のう工

10.00 袋 当り

(WB252730)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型] 25t吊		日			
合 計	1	袋	当り		

条件名称
J01 作業区分
J03 設置作業半径
J04 ラフテレーンクレーン賃料
補正

入力名称
撤去
6mを超え20m以下
標準(1.0)

第 0004 号 一位代価表(施工歩掛表) ポンプ設置・撤去

1.00 箇所 当り

(WB252320)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホウ運転		日			第5号施工表
合 計	1	箇所	当り		

第 0005 号 一位代価表(施工歩掛表) バックホウ運転

1.00 日 当り

(WK250540)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
運転手(特殊)		人			
軽油		L			
バックホウ(クローラ)〔標準・クレーン機能付き〕 山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊		日			
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合 計	1	日	当り		

第 0006 号 一位代価表(施工歩掛表) ポンプ運転

1.00 日 当り

(WB252310)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人			
工事用水中ポンプ運転 0以上40(m3/h)未満, 作業時排水		日			第7号施工表
発動発電機運転 0以上40(m3/h)未満, 作業時排水		日			第8号施工表
諸雑費 (率・まるめ)	1	式			
合 計	1	日	当り		

条件名称
J01 排水量区分
J02 排水方法

入力名称
0以上40(m3/h)未満
作業時排水

第 0007 号 一位代価表(施工歩掛表) 工事用水中ポンプ運転

1.00 日 当り

(WK250400)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
工事用水中モータポンプ[普通型] 潜水ポンプ 口径150mm 全揚程10m		日			
合 計	1	日	当り		

条件名称
J01 排水量区分
J02 排水方法

入力名称
0以上40(m3/h)未満
作業時排水

第 0008 号 一位代価表(施工歩掛表) 発動発電機運転

1.00 日 当り

(WK250410)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
軽油		L			
発動発電機[ディーゼルエンジン駆動] 25kVA		日			
合 計	1	日	当り		

	条件名称	入力名称
J01	排水量区分	0以上40(m3/h)未満
J02	排水方法	作業時排水

第 0009 号 一位代価表(施工歩掛表) 構造物とりこわし

1.00 m3 当り

(WB824010)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
鉄筋構造物【構造物とりこわし】 昼間 人力施工 制約無	1.000	m3			
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合 計	1	m3	当り		

	条件名称	入力名称
J01	構造物区分	鉄筋構造物
J02	工法区分	人力施工
J03	時間的制約の有無	無し
J04	夜間作業の有無	無し

第 0001 号 一位代価表(施工P構成表) 現場発生品及び支給品運搬

1 t 当り

(CB010410)

施工P(機13.580%, 労83.540%, 材 2.880%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
トラック[クレーン装置付] ベーストラック2t積 吊能力2.9t		13.58		K1
運転手(特殊)		42.54		R1
特殊作業員		41		R2
軽油		2.88		Z1
積算単価		標準単価		

J01 条件名称
トラック機種
J02 DID区間の有無
J04 片道運搬距離(km)DID有

入力名称
クレーン装置付2t級、吊能力2.9t
有り
5.0km以下

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
コンクリートカッタ[バキューム式・湿式] 超低騒音型 切削深30cm級ブレード径φ75cm		7.2		K1
特殊作業員		12.66		R1
土木一般世話役		6.84		R2
普通作業員		5.66		R3
コンクリートカッタ (ブレード) 径30インチ		23.68		Z1
コンクリートカッタ (ブレード) 径22インチ		16.23		Z2
コンクリートカッタ (ブレード) 径14インチ		9.93		Z3
ガソリン レギュラー		1.76		Z4
積算単価		標準単価		

J01 条件名称
J03 舗装版種別
J05 コンクリート舗装版厚
費用の内訳

入力名称
コンクリート舗装版
15cmを超え30cm以下
全ての費用

第 0003 号 一位代価表(施工P構成表) 殻運搬

1 m3 当り

(CB227010)

施工P(機41.690%, 労43.880%, 材14.430%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級		41.69		K1
運転手(一般)		43.88		R1
軽油		14.43		Z1
積算単価		標準単価		

条件名称	入力名称
J01 殻発生作業	コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし
J02 積込工法区分	機械積込
J03 DID区間の有無	有り
J04 運搬距離(km)(DID区間有無)	5.7km以下
J13 費用の内訳	全ての費用

第 0004 号 一位代価表(施工P構成表) アンカー

1 本 当り

(CB435940)

施工P(機 0.000%, 労100.000%, 材 0.000%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
特殊作業員		48.82		R1
土木一般世話役		26.42		R2
普通作業員		21.85		R3
積算単価		標準単価		

条件名称	入力名称
J01 適用アンカー材径	25mm以下
J02 削孔方向	横方向

第 0005 号 一位代価表(施工 P 構成表) 型枠

1 m2 当り

(CB240210)

施工P(機 0.000%, 労100.000%, 材 0.000%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
型わく工		43.77		R1
普通作業員		31.27		R2
土木一般世話役		11.92		R3
積算単価		標準単価		

J01 条件名称
型枠の種類
J02 構造物の種類

入力名称
一般型枠
小型構造物

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
バックホウ(クローラ)[標準・クレーン機能付き] 山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊		3.49		K1
普通作業員		11.17		R1
特殊作業員		10.01		R2
土木一般世話役		7.75		R3
運転手(特殊)		6.47		R4
生コンクリート 18-8-25(20) 高炉 【60%以下】		56.64		Z1
軽油		1.69		Z2
積算単価		標準単価		

J01 条件名称
 J02 構造物種別
 J03 打設工法
 J05 コンクリート規格
 J05 養生工の種類
 J13 費用の内訳

入力名称
 小型構造物
 バックホウ(クレーン機能付)打設
 18-8-25(高炉)
 一般養生
 全ての費用

第 0007 号 一位代価表(施工 P 構成表) 蓋設置

1 組 当り

(CB440460)

施工P(機 6.380%, 労90.600%, 材 3.020%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
バックホウ(クローラ)〔超小旋回型・ クレーン機能付き〕 山積0.28m3(平積0.2m3) 1.7t吊		6.38		K1
普通作業員		41.94		R1
運転手(特殊)		20.81		R2
土木一般世話役		14.48		R3
特殊作業員		13.37		R4
軽油		3.02		Z1
積算単価		標準単価		

J01 条件名称
蓋1組当り質量

入力名称
200kg以下

第 0008 号 一位代価表(施工 P 構成表) 床掘り

1 m3 当り

(CB210030)

施工P(機19.870%, 労72.990%, 材 7.140%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
バックホウ(クローラ)[後方超小旋回型] 排ガス型(第2次) 山積0.28m3		19.87		K1
運転手(特殊)		39.96		R1
普通作業員		33.03		R2
軽油		7.14		Z1
積算単価		標準単価		

J01 条件名称
土質
J02 施工方法
J05 費用の内訳

入力名称
土砂
上記以外(小規模)
全ての費用

積 算 条 件 一 覧 表

単価表番号	名 称 / 規 格	単 位	単 価	摘 要
第0001号施工表	大型土のう工 製作・設置，購入土，6mを超え20m以下，標準(1.0)	袋		WB252730
第0002号施工表	バックホウ運転 製作・設置，6mを超え20m以下	日		WK250500
第0003号施工表	大型土のう工 撤去，6mを超え20m以下，標準(1.0)	袋		WB252730
第0004号施工表	ポンプ設置・撤去	箇所		WB252320
第0005号施工表	バックホウ運転	日		WK250540
第0006号施工表	ポンプ運転 0以上40(m ³ /h)未満，作業時排水	日		WB252310
第0007号施工表	工事用水中ポンプ運転 0以上40(m ³ /h)未満，作業時排水	日		WK250400
第0008号施工表	発動発電機運転 0以上40(m ³ /h)未満，作業時排水	日		WK250410
第0009号施工表	構造物とりこわし 鉄筋構造物，人力施工，無し，無し	m ³		WB824010
第0001号施工P	現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付2t級、吊能力2.9t，有り，5.0km以下	t		CB010410
第0002号施工P	舗装版切断 コンクリート舗装版，15cmを超え30cm以下，全ての費用	m		CB430510

積 算 条 件 一 覧 表

単価表番号	名 称 / 規 格	単 位	単 価	摘 要
第0003号施工P	殻運搬 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし, 機械積込, 有り, 5.7km以下, 全ての費用	m3		CB227010
第0004号施工P	アンカー 25mm以下, 横方向	本		CB435940
第0005号施工P	型枠 一般型枠, 小型構造物	m2		CB240210
第0006号施工P	コンクリート 小型構造物, バックホウ(クレーン機能付)打設, 18-8-25(高炉), 一般養生, 全ての費用	m3		CB240010
第0007号施工P	蓋設置 200kg以下	組		CB440460
第0008号施工P	床掘り 土砂, 上記以外(小規模), 全ての費用	m3		CB210030

使用機械の機種・規格及び施工方法は特記仕様書等で定めのある場合を除き、請負者の責任において任意で定め施工すること。ただし、使用機械は、排出ガス対策、低騒音・低振動型建設機械を原則とし、機種や規格については、施工計画書等に明記すること。

1. 本工事内訳表

費 目	工 種	種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 用
本工事費								
	機械工事							
		機器費						
			機器費	式	1			第1号明細書
			計					(機器費)
		直接工事費						
			輸送費	式	1			第2号明細書
			計					(輸送費)
			直接材料費	式	1			第3号内訳書
			小計					直接材料費
			補助材料費	式	1			4.00%
			計					(材料費)
			一般労務費	式	1			第4号明細書
			機械設備据付労務費	式	1			第5号明細書
			計					(労務費)
			機械経費	式	1			2%
			総合試運転費	式	1			
			計					(直接経費)
			仮設費	式	1			
			計					(仮設費)
		直接工事費計						
		間接工事費						
			共通仮設費	式	1			

[illegible]

機械経費計算書

1.機械経費

公式	機械経費＝労務費×機械経费率
経费率	機械経费率＝ 2.00 %
対象額	(一般) (機械設備据付) 労務費＝ + ＝ 円
金 額	労務費×機械経费率 ＝ × 0.0200 ＝ 円

2.総合試運転費

公式	総合試運転費＝総合試運転費対象額×総合試運転费率
率計算式	$Y=13,520 \times X^{-0.545}$ Y: 総合試運転费率(%) (小数点以下3位四捨五入2位止め) X: 機器費 (当該仮設費及び総合誌運転費は除く) 但し $X \leq 1,000,000$ Y=7.26 (%) $X > 1,000,000,000$ Y=0.17 (%)
対象額	機器費＝ 円
率の計算	仮設费率＝ %
金 額	直接工事費×仮設费率 ＝ × ＝ 円

3.仮設費

公式	仮設費＝仮設費対象額×仮設费率
率計算式	$Y=33.44 \times X^{-0.1583}$ Y: 仮設费率(%) (小数点以下3位四捨五入2位止め) X: 機器費＋直接工事費 (当該仮設費及び総合誌運転費は除く) 但し $X \leq 1,000,000$ Y=3.75 (%) $X > 1,000,000,000$ Y=1.26 (%)
対象額	機器費＝ 円 直接工事費＝ 円 (当該仮設費及び総合試運転費は除く) 計 円
率の計算	仮設费率＝ %
金 額	直接工事費×仮設费率 ＝ × ＝ 円

機 械 率 計 算 書

1.共通仮設費

公式	共通仮設費＝(直接工事費＋事業損失防止施設費)×共通仮設費率		
率計算式	$Y=2,858.52 \times X^{-0.2698}$ $Y: \text{共通仮設費率}(\%) \quad (\text{小数点以下3位四捨五入2位止め})$ $X: \text{直接工事費} + \text{事業損失防止施設費}$ $\text{但し } X \leq 1,000,000 \quad Y=68.76(\%)$ $X > 500,000,000 \quad Y=12.86(\%)$		
対象額	直接工事費＝	円	
	事業損失防止施設費＝	円	
	計＝	円	
率の計算	共通仮設費率＝		
金 額	(直接工事費＋事業損失防止施設費)×共通仮設費率		
	＝	(	＋
	＝	)	×

2.現場管理費および据付間接費

	現 場 管 理 費		据 付 間 接 費	
公式	現場管理費＝純工事費×現場管理費率		据付間接費＝機械設備据付労務費×据付間接費率	
率計算式	$Y=426.49 \times X^{-0.1445}$ $Y: \text{現場管理費率}(\%) \quad (\text{小数点以下3位四捨五入2位止め})$ $X: \text{純工事費} = \text{直接工事費} + \text{共通仮設費}$ $\text{但し } X \leq 1,000,000 \quad Y=57.93(\%)$ $X > 500,000,000 \quad Y=23.59(\%)$		据付間接費率＝	
対象額	直接工事費＝	円	機械設備据付労務費＝	円
	共通仮設費＝	円		
	純工事費＝	円		
率の計算	現場管理費率＝		据付間接費率＝	
金 額	純工事費×共通仮設費率		機械設備据付労務費×据付間接費率	
	＝	×	＝	×
	＝		＝	

3.設計技術費

公式	設計技術費＝(機器費＋据付工事原価)×設計技術費率
率計算式	$Y = 183.41 \times X^{-0.2107}$ Y: 共通仮設費率(%) (小数点以下3位四捨五入2位止め) X: 機器費＋据付工事原価 但し $X \leq 5,000,000$ Y=7.11 (%) $X > 1,000,000,000$ Y=2.33 (%)
対象額	機器費＝ 円 据付工事原価＝ 円 計＝ 円
率の計算	設計技術費率＝ %
金 額	(機器費＋据付工事原価)×設計技術費率 ＝ (+) × ＝

4.一般管理費

公式	一般管理費等＝工事原価×一般管理費等率 一般管理費等率＝標準一般管理費等率×前払金支出割合補正係数×機器費補正係数		
率計算式	標準一般管理費等率	前払金支出割合補正係数	機器費補正係数
	$Y = -1.4357 \times \text{Log}X + 35.789$ Y: 標準一般管理費等率(%) (小数点以下3位四捨五入2位止め) X: 工事原価 但し $X \leq 5,000,000$ Y=26.17 (%) $X > 3,000,000,000$ Y=22.18 (%)	前払金支出割合 補正係数 0%以上 5%以下 : 1.05 5%超え15%以下 : 1.04 15%超え25%以下 : 1.03 25%超え35%以下 : 1.01 35%超え40%以下 : 1.00	$R = 1 - (K / 1.25)$ R: 機器費補正係数 K: 工事原価に占める機器費の比率 (R及びKは小数点以下3位四捨五入2位止め)
対象額	工事原価＝ 円	前払金支出割合＝ 35%超え40%以下	工事原価＝ 円 機器費＝ 円 比率＝
率の計算	標準一般管理費等率＝ %	補正係数＝	機器費補正係数＝
	標準一般管理費等率×前払金支出割合補正係数×機器費補正係数＝ %		
金額	工事原価×一般管理費等率 ＝ × ＝ 円 一般管理費調整 工事価格＝ 工事原価 ＋ 一般管理費等 ＝ ＋ ＝ 円 一般管理費＝ 円		

明細書							第 1 - 1 号
名 称	形 状 寸 法 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	備 考	代 表 価 番 号
(機器費)							
曝気ブロー	Φ 40mm*0. 7m3/min*24. 5kPa 1. 5kW*200V*50Hz	台	2				
計							

明細書							第 2 号	
名	称	形 状 寸 法 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	備 考	代 表 価 番 号
	輸送費		式	1.00				
				</				

明細書							第 3 号
名 称	形 状 寸 法 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	備 考	代 表 番 号
配管材		式	1			第 3 - 1 号明細書	
計							

明細書							第 3 - 1 号
名 称	形 状 寸 法 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	備 考	代価表 番 号
フランジ接合材	SUS/ゴムパッキン	個	6				
	JIS10KF						
計							

明細書

第 4 号

名 称	形 状 寸 法 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	備 考	代 表 番 号
機械							
普通作業員		人					
設備機械工		人					
計							

明細書							第 5 号
名 称	形 状 寸 法 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	備 考	代 表 番 号
機械設備据付工		人					
計							

1. 本工事内訳表

費 目	工 種	種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 用
本工事費								
	電気工事							
		機器費						
			機器費	式	1			第1号明細書
			計					(機器費)
		直接工事費						
			輸送費	式	1			第2号明細書
			計					(輸送費)
			直接材料費	式	1			第3号内訳書
			小計					直接材料費
			補助材料費	式	1			4.00%
			計					(材料費)
			一般労務費	式	1			第4号明細書
			技術労務費	式	1			第5号明細書
			計					(労務費)
			組合せ試験費	式	1			第6号明細書
			総合試運転費	式	1			
			小計					試運転費
			機械経費	式	1			
			計					(直接経費)
			仮設費	式	1			
			計					(仮設費)
		直接工事費計						

[illegible]

電気経費計算書

1.機械経費

公式	機械経費＝労務費×機械経費率
経費率	機械経費率＝ 1.00 %
対象額	(一般) (技術) 労務費＝ + ＝ 円
金 額	労務費×機械経費率 ＝ × ＝ 円

2.総合試運転費

公式	総合試運転費＝総合試運転費対象額×総合試運転費率
率計算式	$Y = 38,500 \times X^{-0.5779}$ Y: 総合試運転費率(%) (小数点以下3位四捨五入2位止め) X: 機器費 (当該仮設費及び総合試運転費は除く) 但し $X \leq 10,000,000$ Y=3.47 (%) $X > 1,000,000,000$ Y=0.24 (%)
対象額	機器費＝ 円
率の計算	仮設費率＝ %
金 額	直接工事費×仮設費率 ＝ × ＝ 円

3.仮設費

公式	仮設費＝仮設費対象額×仮設費率
率計算式	$Y = 300 \times X^{-0.2286}$ Y: 仮設費率(%) (小数点以下3位四捨五入2位止め) X: 機器費＋直接工事費 (当該仮設費及び総合試運転費は除く) 但し $X \leq 1,000,000$ Y=12.75 (%) $X > 200,000,000$ Y=3.80 (%)
対象額	機器費＝ 円 直接工事費＝ 円 (当該仮設費及び総合誌運転費は除く) 計 円
率の計算	仮設費率＝ %
金 額	直接工事費×仮設費率 ＝ × ＝ 円

電 気 率 計 算 書

1.共通仮設費

公式	共通仮設費＝(直接工事費＋事業損失防止施設費)×共通仮設費率		
率計算式	$Y=1581 \times X^{-0.2574}$ Y:共通仮設費率(%) (小数点以下3位四捨五入2位止め) X:直接工事費＋事業損失防止施設費 但し$X \leq 1,000,000$ Y=45.14 (%) $X > 200,000,000$ Y=11.54 (%)		
対象額	直接工事費＝	円	
	事業損失防止施設費＝	円	
	計＝	円	
率の計算	共通仮設費率＝ %		
金 額	(直接工事費＋事業損失防止施設費)×共通仮設費率		
	＝ (+) ×		
	＝		

2.現場管理費および据付間接費

	現 場 管 理 費		据 付 間 接 費	
公式	現場管理費＝純工事費×現場管理費率		据付(技術者)間接費＝技術労務費×据付(技術者)間接費率 据付(機器)間接費＝機器費×据付(機器)間接費率	
率計算式	$Y=2296 \times X^{-0.2469}$ Y:現場管理費率(%) (小数点以下3位四捨五入2位止め) X:純工事費＝直接工事費＋共通仮設費 但し$X \leq 1,000,000$ Y=75.81 (%) $X > 300,000,000$ Y=18.53 (%)		据付(技術者)間接費率＝ 80 % 据付(機器)間接費率 Y=12.92× $X^{-0.133}$ Y:現場管理費率(%) (小数点以下3位四捨五入2位止め) X:純工事費＝直接工事費＋共通仮設費 但し $X \leq 10,000,000$ Y=1.51 (%) $X > 1,000,000,000$ Y=0.82 (%)	
対象額	直接工事費＝	円	技術労務費＝	円
	共通仮設費＝	円	機器費＝	円
	純工事費＝	円		
率の計算	現場管理費率＝ %		据付(技術者)間接費率＝ 80 % 据付(機器)間接費率＝ %	
金 額	純工事費×共通仮設費率		機械設備据付労務費×据付間接費率	
	＝	×	＝	×
	＝		＝	
			＝	×
			＝	

3.設計技術費

公式	設計技術費＝(機器費＋据付工事原価)×設計技術費率
率計算式	$Y = 158.8 \times X^{-0.2074}$ Y:共通仮設費率(%) (小数点以下3位四捨五入2位止め) X:機器費＋据付工事原価 但し $X \leq 20,000,000$ Y=4.86 (%) $X > 1,000,000,000$ Y=2.16 (%)
対象額	機器費＝ 円 据付工事原価＝ 円 計＝ 円
率の計算	設計技術費率＝ %
金 額	(機器費＋据付工事原価)×設計技術費率 ＝ (+) × ＝

4.一般管理費

公式	一般管理費等＝工事原価×一般管理費等率 一般管理費等率＝標準一般管理費等率×前払金支出割合補正係数		
率計算式	標準一般管理費等率	前払金支出割合補正係数	
	$Y = -1.081 \times \text{Log}X + 27.76$ Y : 標準一般管理費等率(%) (小数点以下3位四捨五入2位止め) X : 工事原価 但し $X \leq 1,000,000$ $Y = 21.27$ (%) $X > 300,000,000$ $Y = 18.60$ (%)	前払金支出割合 補正係数 0%以上 5%以下 : 1.05 5%超え15%以下 : 1.04 15%超え25%以下 : 1.03 25%超え35%以下 : 1.01 35%超え40%以下 : 1.00	
対象額	工事原価＝ 円	前払金支出割合＝ 35%超え40%以下	
率の計算	標準一般管理費等率＝ %	補正係数＝	
	標準一般管理費等率×前払金支出割合補正係数＝ %		
金 額	工事原価×一般管理費等率 ＝ × ＝ 円 一般管理費調整 工事価格＝ 工事原価 ＋ 一般管理費等 ＝ ＋ ＝ 円 一般管理費＝ - = 円		

明細書							第 1 - 1 号
名 称	形 状 寸 法 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	備 考	代 表 価 番 号
(機器費)							
曝気フロア盤	鋼板製屋内自立形	式	1				
計							

名	称	形 状 寸 法 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	備 考	代 表 価 番 号
	輸送費		式	1.00				
	小計							

明細書							第 3 号
名 称	形 状 寸 法 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考	代 表 価 番 号
動力ケーブル		式	1			第 3 - 2 号明細書	
制御ケーブル		式	1			第 3 - 3 号明細書	
電線管類		式	1			第 3 - 4 号明細書	
計							

明細書							第 3 - 2 号
名 称	形 状 寸 法 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	備 考	代価表 番 号
600V-CE	3.5sq-3c	m	12.00				
付属材料費		式	1			材料費×0.015（付属材料費率）	
（動力ケーブル）							
小計							

明細書							第 3 - 2 号	
名 称	形 状 寸 法 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	備 考	代 表 番 号	
600V-IE	3.5sq	m	4					
付属材料費		式	1			材料費×0. 0 1 5 （付属材料費率）		
(制御ケーブル)								
小計								

明細書							第 3 - 4 号
名 称	形 状 寸 法 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考	代 表 番 号
厚鋼電線管	36mm	m	3				
厚鋼電線管	28mm	m	4				
付属材料費		式	1			材料費×1.75（付属材料費率）	
プルボックス	SUS-WP 150*150*100	個	1				
小計							

明細書							第 4 号
名 称	形 状 寸 法 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	備 考	代 表 番 号
電 気							
電 工		人					
計							

大池親水公園施設改修工事

特 記 仕 様 書

令和7年度

春日部市公園緑地課

第1章 総則

第1節 一般事項

(1) 適用範囲

本仕様書は春日部市公園緑地課（以下、甲という）が発注する下記工事に適用する。

工事名称：大池親水公園施設改修工事

工事場所：春日部市南五丁目地内

(2) 関係法令等の遵守

請負者（以下、乙という）は、工事請負約款、建設業法、労働基準法、労働者災害補償保険法およびその他の関係法令、並びに関係官公署の許可条件を遵守し、工事の円滑な進捗を図らなければならない。

(3) 官公署に対する手続き

工事施工のため、必要な官公署に対する手続きは、乙が行うものとし、これに要する費用は乙の負担とする。

なお、乙はその結果を監督員に報告しなければならない。

(4) 適用規格

- 1) 日本産業規格（JIS）
- 2) 電気規格調査会標準規格（JEC）
- 3) 日本電機工業会規格（JEM）
- 4) 内線規程
- 5) その他関係法規

第2節 承諾図および完成図書

(1) 承諾図

この仕様書並びに添付図書に記載する事項は、主要事項のみを示すものであるため、乙は承諾図を提出し監督員の承諾を得てから機器製作に着手しなければならない。

なお、承諾図の提出部数は2部（返却用1部を含む）とする。

(2) 完成図書

完成図書には、承諾図に下記のものを追加し2部提出するものとする。

完成図書の製本については監督員と協議のうえ決定する。

- 1) 機器性能特性図
- 2) 試験成績書
- 3) 機器取扱説明書
- 4) その他監督員の指示するもの

第3節 材料

(1) 材料の規格

主な使用材料はすべて日本産業規格（JIS）、電気規格調査会標準規格（JEC）、日本電機工業会規格（JEM）、内線規程のいずれかに適用しなければならない。

(2) 使用材料の検査及び承諾

- 1) 工事用材料は、使用前に検査を受け合格したものでなければならない。
使用材料については、使用前に承諾されたものでなければならない。
- 2) 材料検査に際して、乙はこれに立ち会わなければならない。
立ち会わない場合は、乙は検査に対し異議を申し立てることはできない。
- 3) 検査及び試験のため、使用に耐えられなくなったものは、所定数量に算定してはならない。
- 4) 材料検査に合格したものであっても、使用時になって損傷や変質したときは新品と取替え、再び検査を受けなければならない。

第4節 試験および検査

(1) 試験および検査

- 1) 工事完了後は監督員立会いのうえ、総合試験及び各種検査を実施する。
- 2) 機器及び付属品の試験は、工場試験と現場試験に区別して行うものとする。
工場試験は機器製作完了後、その製作工場において実施し、現場試験はすべての機器を現場に据付完了後、各種試験を行うものとする。
なお、各種試験は原則として監督員立会いのうえ実施するものとし、事前に検査日時、検査場所等の必要項目を記入し、監督員に提出することとする。
- 3) 工場検査および試運転は甲への納入品以外のものであってはならない。
- 4) 監督員が必要と認めた場合は、公共又は権威ある試験所、その他の機関の材料

試験成績書および検査合格証明書を提出するものとする。

- 5) 工場検査を省略された機器材料についても監督員の指定したものについては、試験成績書を提出するものとする。
- 6) 機器の試験および検査は原則として監督員の立会いのもとに行うが、当該機器が公認の規格による汎用品である時はその成績表を提出して承諾を受けるものとする。
- 7) 試験に要する費用はすべて乙の負担とする。

第5節 試運転および運転指導

(1) 試運転

- 1) 工事完了後、現場試験を実施する場合には乙は責任ある専門技術者を現場に派遣し、監督員と打合せのうえ試運転の実施に当たること。
- 2) 試運転実施日および期間については、監督員の指示によるものとする。
- 3) 試運転成績書は速やかにまとめて必要部数を甲に提出すること。
- 4) 試運転調整に要する費用はすべて乙の負担とする。

(2) 運転指導

- 1) 工事竣工引渡後、乙は直ちに専門技術者を派遣して設備の運転に備えること。
- 2) 期間は原則として10日以内とする。
- 3) 指導員の派遣費用は乙の負担とする。
- 4) 試運転調整に要する費用はすべて乙の負担とする。

第6節 調査事項、その他

- (1) 乙は設計図書および数量計算書に示された数量の確認を行い、監督員の指示がある場合には出来高調書を作成し提出しなければならない。
- (2) 産業廃棄物の処理については、関係法令に基づき許可を受けた処分場にて処分を行うこととする。
- (3) 処分を証明する下記資料を監督員に提出することとする。
 - 1) 収集運搬、最終処分業の許可証の写し。
 - 2) 産業廃棄物処理契約書の写し。
 - 3) 産業廃棄物処理業者の許可証の写し。
 - 4) 処分数量を確認できる資料（マニフェスト管理票）。

第2章 機械設備工事

第1節 概要

本工事は曝気ブロワの老朽化に伴い、機器の撤去据付工事を行うものである。

第2節 主要機器構成

- 1) 曝気ブロワ
- 2 基

第3節 工事範囲

- (1) 第2節記載の機器製作
- (2) 第2節記載の機器据付工事
- (3) 機器撤去工事
- (4) 試運転調整
- (5) その他上記に伴う諸工事

第4節 機器特記仕様

- (1) 曝気ブロワ
- 1) ブロワ仕様
- 形 式

口 径

風 量

吐出圧力

数 量

ルーツブロワ

φ 40mm

0.7m³/min

24.5kPa

1台
- 2) 電動機仕様
- 形 式

出 力

極 数

電 圧

周 波 数

始動方式

全閉外扇屋内形三相誘導電動機

1.5kW

4P

3φ 200V

50 Hz

直入

3) 主要部材料

ケーシング	FC200 又は同等以上
ロータシャフト	FCD500-7 又は同等以上
タイミングギヤ	SCM415 又は同等以上

4) 塗装

接 水 部	メーカー標準
大 気 部	メーカー標準

6) 付属品 (1台につき)

地上銘板	: 1枚
吸込消音器	: 1台
ベース	: 1個
ベルトカバー	: 1個
安全弁	: 1台
圧力計	: 1個
チャッキ弁	: 1台
フレキシブルジョイント	: 1本
その他必要なもの	: 1式

第3章 電気設備工事

第1節 概要

本工事は、大池親水公園内の曝気ブロワ設備老朽化に伴い、電気設備の更新工事を行うものである。

第2節 主要機器構成

- (1) 曝気ブロワ盤 1面

第3節 工事範囲

- (1) 第2節記載の機器製作
- (2) 第2節記載の機器据付工事
- (3) 機器間の配管、配線工事
- (4) 既設機器の撤去工事
- (5) 試運転調整
- (6) その他上記に伴う諸工事

第4節 機器特記仕様

- (1) 排水ポンプ盤
- 1) 形 式 鋼板製屋内自立形
 - 2) 数 量 1面
 - 3) 寸 法 設計図を参照し、打合せにおいて決定する。
 - 4) 盤面取付器具
 - 名称銘板 1式
 - 交流電圧指示計 1台
 - 交流電流指示計 3台
 - 集合表示灯 1式
 - 交流電圧計切替スイッチ 1台
 - 交流電流計切替スイッチ 3台
 - 切替スイッチ (手動-自動) 2台
 - 操作スイッチ (停止-運転) 3台
 - 押釦スイッチ 3台

ブザー	1式
その他必要なもの	1式

5) 盤内取付器具

配線用遮断器	3P 100AF	1台
	2P 30AF	2台
漏電遮断器	3P 50AF	1台
	3P 30AF	2台
	2P 30AF	1台
電磁接触器		3台
進相コンデンサ	75 μ F	1台
	40 μ F	2台
熱動継電器		2台
3要素継電器		1組
計器用変流器	20/5A	1組
	10/5A	2組
単相変圧器	210/105V	1台
電源用避雷器		1式
ヒューズ類		1式
補助継電器		1式
限時継電器		1式
液面制御継電器		1式
スペースヒータ		1式
盤内照明		1式
コンセント		1式
その他必要なもの		1式

工事特記仕様書

(趣 旨)

第1条 この特記仕様書は、埼玉県土木工事共通仕様書に定めるもののほか、工事に関し必要な事項を定めるものとする。

(適 用)

第2条 この特記仕様書は、次の工事に適用する。

- ・工 事 名 大池親水公園施設改修工事
- ・工事場所 春日部市南五丁目地内

(共通事項)

第3条 受注者は、「資源の有効な利用の促進に関する法律（資源有効利用促進法）」等に基づき、次の対象工事について、本工事に係る再生資源利用【促進】計画書を作成し、施工計画書に含め各1部提出する。また、工事完成後速やかに計画の実施状況（実績）について、再生資源利用【促進】実施書を作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を保存する。

○ 再生資源利用計画書（実施書）の作成対象工事（下記のいずれかに該当する工事）

- ① 1,000m³以上の土砂を搬入する工事
- ② 500 t以上の砕石を搬入する工事
- ③ 200 t以上の加熱アスファルト混合物を搬入する工事
- ④ 最終請負金額100万円以上の工事

○ 再生資源利用促進計画書（実施書）の作成対象工事（下記のいずれかに該当する工事）

- ① 1,000m³以上の建設発生土を搬出する工事
- ② アスコン塊、コンクリート塊、及び建設発生木材の合計で200 t以上搬出する工事
- ③ 最終請負金額100万円以上の工事

2 受注者は、施工計画書に建設廃棄物の処理計画を添付する。なお、建設廃棄物の処分にあたり、排出事業者は処分業者と建設廃棄物処理委託契約を締結し、同契約書の写しを処理計画に添付する。

また、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別に収集運搬業者と建設廃棄物処理委託契約を締結する。

3 建設廃棄物については、「産業廃棄物処理におけるマニフェストシステム」に基づく、建設廃棄物マニフェストA票、B2票、D票、E票を監督員に提示し、確認を受けるとともに、D票、E票の写しを提出する。また、工事検査時には原本を提示しなければならない。

(建設廃棄物の再資源化等)

第4条 受注者は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。)に基づいて、特定建設資材廃棄物を再資源化のための施設に搬入する場合は、適切な施設に搬入しなければならない。

なお、特定建設資材廃棄物とは、特定建設資材(コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト・コンクリート)が廃棄物となったものである。

○再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地
コンクリート	(株) 共同土木	春日部市永沼612-1
木くず、廃プラ	(株) エコシス	北葛飾郡杉戸町本郷 593-1
鉄くず、SUS	第一スクラップ (株)	春日部市薄谷 279-1

※上記は積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。ただし、原則として再資源化施設へ搬出すること。

なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。

ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものではない事項についてはこの限りではない。

2 受注者は、契約前に作成した「分別解体等の計画等」を文書で発注者に説明するものとする。

3 受注者は、工事の施工に当たっては、「彩の国建設リサイクル実施指針」を遵守し、建設資材廃棄物の再生資源化等に努め、廃棄物の減量を図らなければならない。

4 建設汚泥は、産業廃棄物処分業の許可を取得している事業者へ運搬し、処理する。
なお、運搬先に受け入れ条件等を確認し、監督員に報告する。

(法定外の労災保険の付保)

第5条 受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

(工事完成図書の納品)

第6条 受注者は、工事完成図書にあたっては、紙媒体での納品と併せて以下の資料については電子データをCD-R等で納品するものとする。

- ・材料承諾書
- ・完成図書
- ・工事写真
- ・その他監督員が必要と認めるもの

(その他)

第7条 施工場所は公園施設内のため利用者も多いことから、安全対策に十分に配慮するとともに、施工区域内に第三者が侵入しないよう処置を施すものとする。

- 2 公園施設の設置場所については、監督員と協議の上、詳細の場所を決定すること。
- 3 その他、施工内容、現地状況等に疑義が生じた場合は、速やかに監督員に確認を行い、指示を受けること。

第8条 情報共有システムの活用について

「春日部市建設工事情報共有システム実施要領」第3条第1項に基づき、情報共有システムを活用すること。

実施にあたっては、「春日部市建設工事情報共有システム実施要領」に基づくものとするので予め市のウェブページを参照すること。

<https://www.city.kasukabe.lg.jp/soshikikarasagasu/keiyakukensaka/gyomuannai/2/3/29511.html>

大池親水公園施設改修工事

数量計算書

工 事 数 量 総 括 表

工 事 名	大池親水公園施設改修工事						事 業 区 分	
							工 事 区 分	
工事区分 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 別	規 格	単位	数量(今回)		数量(変更)		数量増減	摘 要
			設計数量	設計計上数量	設計数量	設計計上数量		
大池親水公園施設改修工事								
施設整備								
ゲート改修工								
仮設工		式	1	1				
土のう	大型	袋	40	40				W=0.5t/個
構造物撤去工		式	1	1				
CON切断	t=300	m	16.4	16				
CON破砕		m3	1.3	1				
ゲート撤去	φ 600、φ 200	式		1				
運搬処理工		式	1	1				
CON	有筋	m3	1.3	1				
鉄		m3	0.4	0.4				
ゲート設置		式	1	1				
ゲート設置 (1)	内ネジ式スルースゲート φ 600	基	1	1				
Gr 蓋 (1)	T-25 細目 開閉式 盗難防止処理付	枚	1	1				
ゲート設置 (2)	内ネジ式スルースゲート φ 200	基	1	1				
Gr 蓋 (2)	T-25 細目 開閉式 盗難防止処理付	枚	1	1				

仮設工

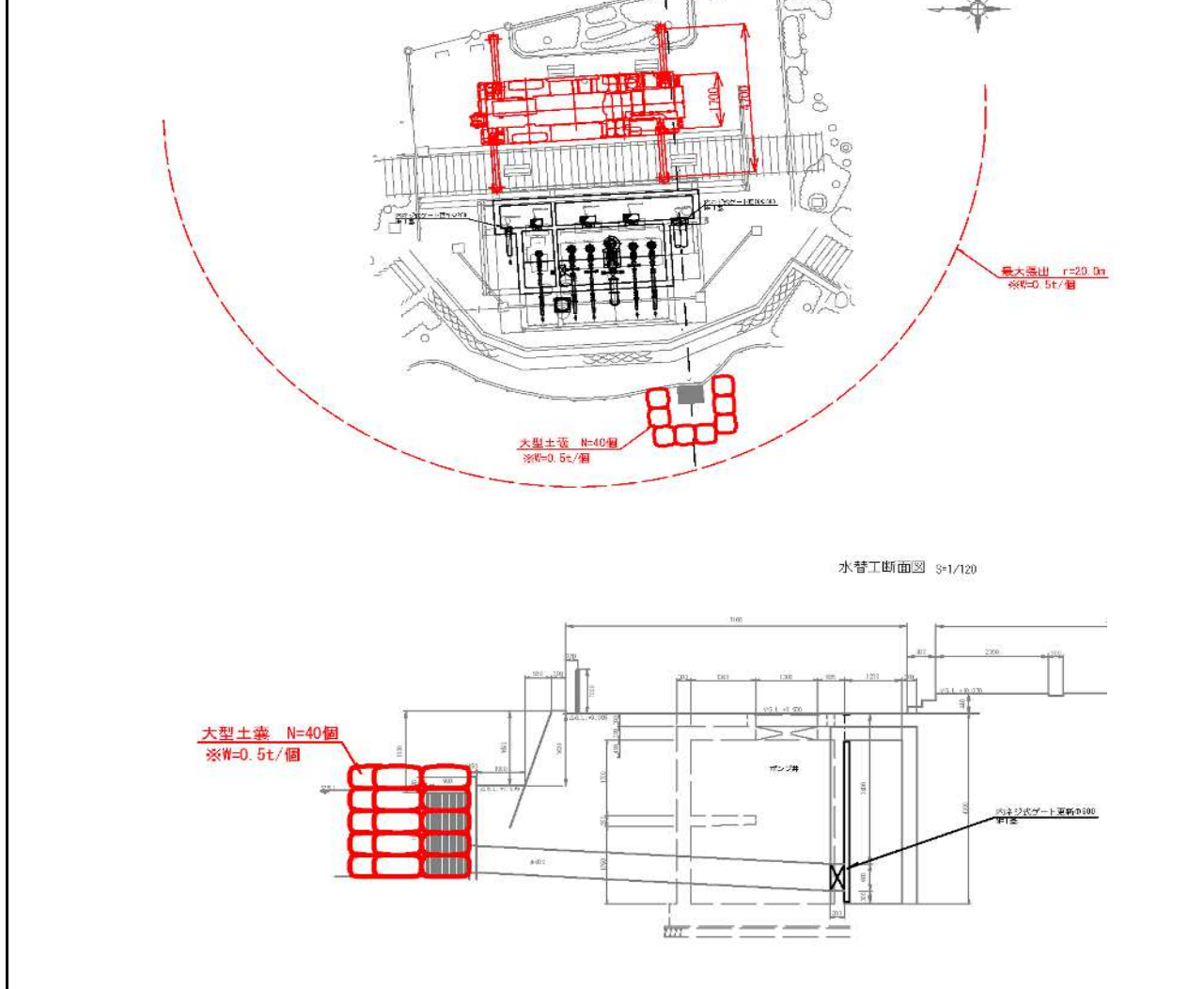
数量集計表

[illegible]

[illegible]

1式当り

【略図】 宮城野中園地計画図

[illegible]

構造物撤去工

数量集計表

[illegible]

[illegible]

運搬処分工

数量集計表

[illegible]

運搬処分 計算書

[illegible]

ゲート設置工

数量集計表

[illegible]

[illegible]

1式当り

【略図】

200

アンカー

100

140

100

340

85 50 50

コンクリート(1)
 $\sigma = 18\text{N/mm}^2$

100

150

3-φ9 アンカー

6 (扉厚)

水圧

600 (有効高)

3-φ9 アンカー

300

アンカー

コンクリート(2)
 $\sigma = 18\text{N/mm}^2$

90 150 100

340

[illegible]

1式当り

【略図】

200

100

140

100

340

アンカー

85 50 50

コンクリート (1)
 $\sigma = 18\text{N/mm}^2$

100

150

3-φ9 アンカー

6 (扉厚)

水圧

600 (有効高)

3-φ9 アンカ

300

アンカー

コンクリート (2)
 $\sigma = 18\text{N/mm}^2$

90 150 100

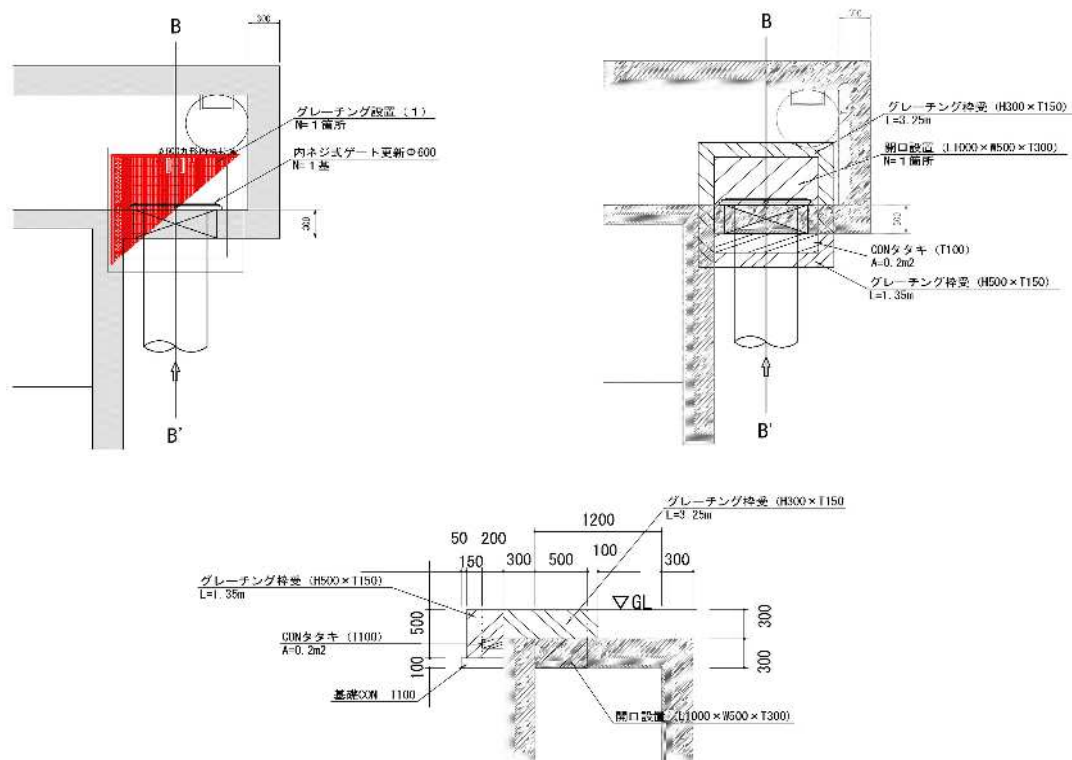
340

[illegible]

グレーチング設置（１） 単位数量表

1式当り

【略図】



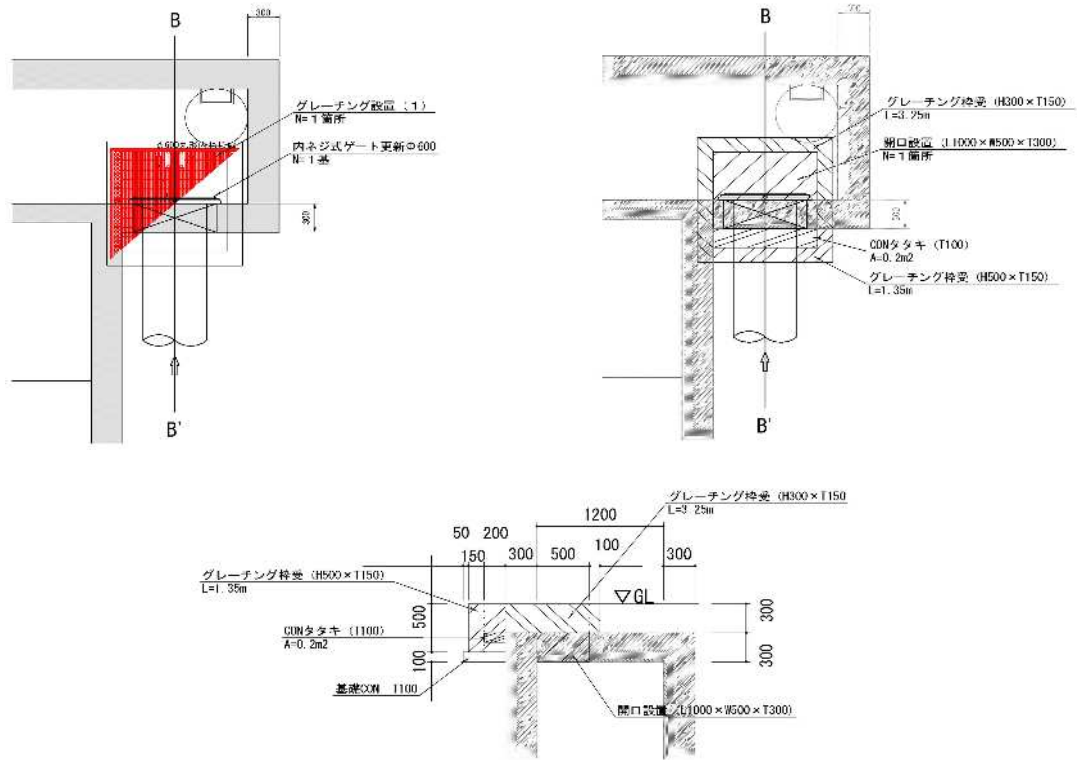
※面積はCAD計測による

項 目	計 算 式	数 量
グレーチング枠受	$V = 3.250 \times 0.300 \times 0.150$	$= 0.146 \text{ m}^3$
	$V = 1.350 \times 0.500 \times 0.150$	$= 0.101 \text{ m}^3$
	$V = 0.146 + 0.101$	$= 0.247 \text{ m}^3$
CON控除分 (グレーチング枠分)	$A = 1.242 \times 1.162 - 1.000 \times 1.000$	$= 0.443 \text{ m}^2$
	$V = 0.443 \times 0.098$	$= 0.043 \text{ m}^3$
CONたたき	$V = 1.000 \times 0.200 \times 0.100$	$= 0.020 \text{ m}^3$
基礎CON	$V = 1.200 \times 0.400 \times 0.100$	$= 0.048 \text{ m}^3$
合計	$V = 0.247 - 0.043 + 0.020 + 0.048$	$= 0.272 \text{ m}^3$

型枠（１） 単位数量表

1式当り

【略図】



項 目	計 算 式	数 量
グレーチング枠受 (H300)	$L = 1.000 + 1.000 + 0.800$	$= 2.800 \text{ m}$
	$A = 2.800 * (0.300 - 0.098)$	$= 0.566 \text{ m}^2$
グレーチング枠受 (H500内)	$L = 1.000 + 0.200$	$= 1.200 \text{ m}$
	$A = 1.200 * (0.500 - 0.098)$	$= 0.482 \text{ m}^2$
グレーチング枠受 (H500外)	$L = 1.000 + 0.150 + 0.200 + 0.150$	$= 1.500 \text{ m}$
	$A = 1.500 * 0.500$	$= 0.750 \text{ m}^2$
合計	$A = 0.566 + 0.482 + 0.750$	$= 1.798 \text{ m}^2$
作業土工	$V = 1.15 * 0.35 * 0.20$	$= 0.081 \text{ m}^3$
	$V = 1.20 * 0.40 * 0.10$	$= 0.048 \text{ m}^3$
合計	$V = 0.081 + 0.048$	$= 0.129 \text{ m}^3$

[illegible]

1式当り

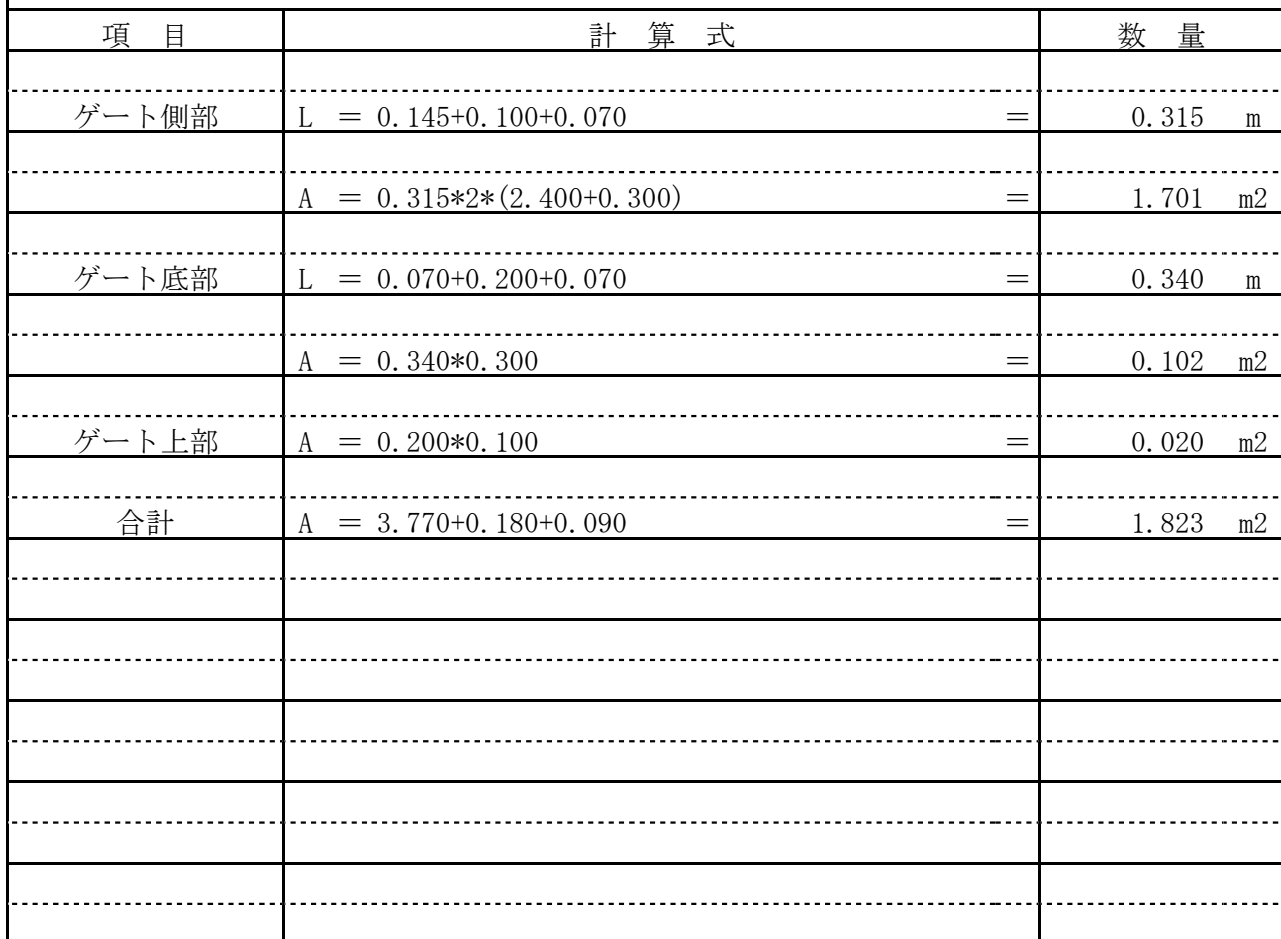
【略図】

※面積はCAD計測による

[illegible][illegible]

1式当り

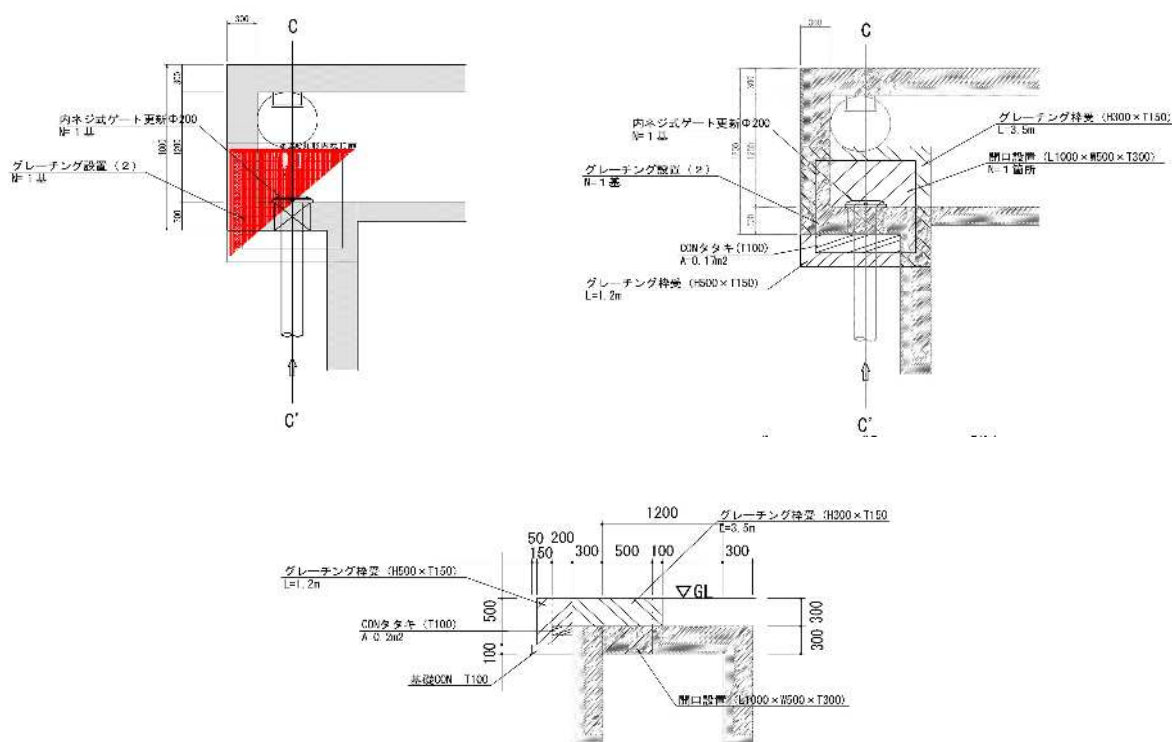
【略図】

[illegible]

グレーチング設置（２） 単位数量表

1式当り

【略図】



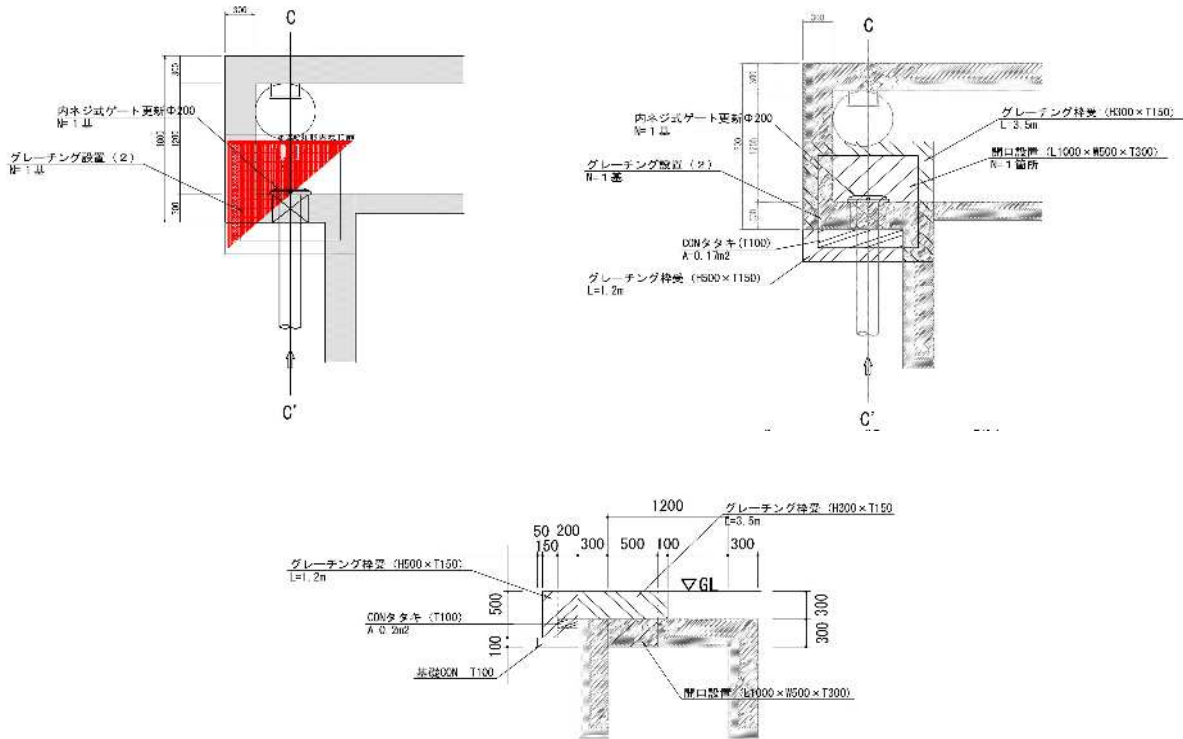
※面積はCAD計測による

項 目	計 算 式	数 量
グレーチング枠受	$V = 3.550 \times 0.300 \times 0.150$	0.160 m ³
	$V = 0.900 \times 0.500 \times 0.150$	0.068 m ³
	$V = 0.160 + 0.068$	0.228 m ³
CON控除分 (グレーチング枠分)	$A = 1.242 \times 1.162 - 1.000 \times 1.000$	0.443 m ²
	$V = 0.443 \times 0.098$	0.043 m ³
CONたたき	$V = 0.700 \times 0.200 \times 0.100$	0.014 m ³
基礎CON	$V = 0.900 \times 0.400 \times 0.100$	0.036 m ³
合計	$V = 0.228 - 0.043 + 0.014 + 0.036$	0.235 m ³

型枠（２） 単位数量表

1式当り

【略図】



項目	計算式	数量
グレーチング枠受 (H300)	$L = 0.800 + 1.000 + 1.000 + 0.300 =$	3.100 m
	$A = 3.100 * (0.300 - 0.098) =$	0.626 m ²
グレーチング枠受 (H500内)	$L = 0.700 + 0.200 =$	0.900 m
	$A = 0.900 * (0.500 - 0.098) =$	0.362 m ²
グレーチング枠受 (H500外)	$L = 0.700 + 0.150 + 0.200 + 0.150 =$	1.200 m
	$A = 1.200 * 0.500 =$	0.600 m ²
合計	$A = 0.626 + 0.362 + 0.600 =$	1.588 m ²
作業土工	$V = 1.00 * 0.35 * 0.20 =$	0.070 m ³
	$V = 1.05 * 0.40 * 0.10 =$	0.042 m ³
合計	$V = 0.070 + 0.042 =$	0.112 m ³

大池親水公園施設改修工事

数 量 計 算 書

(機械設備)

直接勞務費集計表

機 械 設 備

單位：人

[illegible]

機器等据付工

機 械 設 備

[illegible]

[illegible]

機 器 等 撤 去 工

機 械 設 備

名 称	数量	単位重量 (t)	総 重 量		分類 (類)	歩 掛 り		補正率 (%)	再使用歩 掛り率 (%)	撤去工 (人)	普通作業員 (人)	機械設備 据付工 (人)	設備機械工 (人)	技 術 者 (人)	電 工 (人)	備 考
			機 器 (t)	直接材料 (t)		X : 1台当り質量	(人/台,組)									
曝気ブロワ	2	0.1136	0.23		1	12.2 X 0.711			40							
(内訳																
ブロワ本体 88kg																
電動機 22kg																
チャッキ弁 0.9kg																
フレキシブルジョイント 2.7kg																
計			輸送重量 0.23 ton													

*再使用歩掛り率：再使用なしは40% 再使用ありは60%

大池親水公園施設改修工事

数 量 計 算 書

(電気設備)

物件名： 大池親水公園施設改修工事

集計設備（機材内容）

1. 今回 （ケーブル類 材料類 機器類）
2. 撤去 （ケーブル類 材料類 機器類）

機 器 数 量

(1) 機 器

曝気プロワ盤

面

1

[illegible]

人 工 集 計 表

[illegible]

今回 (1/ 1)

据 付 工 集 計 表

機 器 名 称	形 状	単位	数量	技術者		電 工		技術者単体調整				歩 掛 ページ	機器重量(t)		備 考
				単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量		単位重量	重量	
曝気プロワ盤	鋼板製屋内自立形 W600*H1800*D550	面	1												
計 (S-101)															

今回 (1/ 1)

試 験 工 集 計 表

機 器 名 称	形 状	単位	数量	技術者		電 工		技術者単体調整				歩 掛 ページ	備 考
				単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量		
曝気ブロワ盤		負荷	3										
計 (T-101)													

材 料 集 計 表 - 1

[illegible]

材 料 集 計 表 - 3

[illegible]

今回

材 料 内 訳 表

	配線区間		600V EM-CE				EM-IE				G				G							
			3.5 sq				3.5 sq				36 mm				28 mm							
			3 c																			
NO	自	至	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	露出	埋込			露出	埋込						
1001	曝気ブロワ盤	No.1曝気プロ			5.9							3.1										
1002	曝気ブロワ盤	No.1曝気プロ							5.9							2.3						
1003	曝気ブロワ盤	No.2曝気プロ			5.1											1.5						
1004	曝気ブロワ盤	No.2曝気プロ							5.1													

今回 (1/ 1)

拾い出し根拠表

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
1001	曝気ブロワ盤	No. 1曝気ブロ ワ	600V EM-CE 3.5 sq - 3 c	P&D		
				RACK		
				CP	5.9	(0.5)+ 0.5 + 0.6 + 1.7 + 0.3 + 0.9 + 1.1 + 0.1 + (0.2)
				FEP		
				CP		
			G 36 mm	露出	3.1	0.5 + 0.6 + 1.7 + 0.3
1002	曝気ブロワ盤	No. 1曝気ブロ ワ	EM-IE 3.5 sq	P&D		
				RACK		
				CP	5.9	(0.5)+ 0.5 + 0.6 + 1.7 + 0.3 + 0.9 + 1.1 + 0.1 + (0.2)
				FEP		
				CP		
			G 28 mm	露出	2.3	0.9 + 1.1 + 0.1 + (0.2)
1003	曝気ブロワ盤	No. 2曝気ブロ ワ	600V EM-CE 3.5 sq - 3 c	P&D		
				RACK		
				CP	5.1	(0.5)+ 0.5 + 0.6 + 1.7 + 0.3 + 0.9 + 0.4 + (0.2)
				FEP		
				CP		
			G 28 mm	露出	1.5	0.9 + 0.4 + (0.2)
1004	曝気ブロワ盤	No. 2曝気ブロ ワ	EM-IE 3.5 sq	P&D		
				RACK		
				CP	5.1	(0.5)+ 0.5 + 0.6 + 1.7 + 0.3 + 0.9 + 0.4 + (0.2)
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		

(撤 去) 材 料 内 訳 表

	配線区間		600V CV				IV				IV				G				PF			
			3.5 sq				3.5 sq				2 sq				22 mm				16 mm			
			P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	露出	埋込			露出	埋込		
R 1001	曝気ブロワ盤	No.1曝気プロ	0.3		1.1										0.6							
R 1002	曝気ブロワ盤	No.1曝気プロ					0.3			1.1												
R 1003	曝気ブロワ盤	No.2曝気プロ	0.3		1.1										0.6							
R 1004	曝気ブロワ盤	No.2曝気プロ					0.3			1.1												
R 1005	曝気ブロワ盤	-											8.6						7.1			
(1/1)	CRK (2- 1)		0.6		2.2		0.6		2.2				8.6		1.2				7.1			

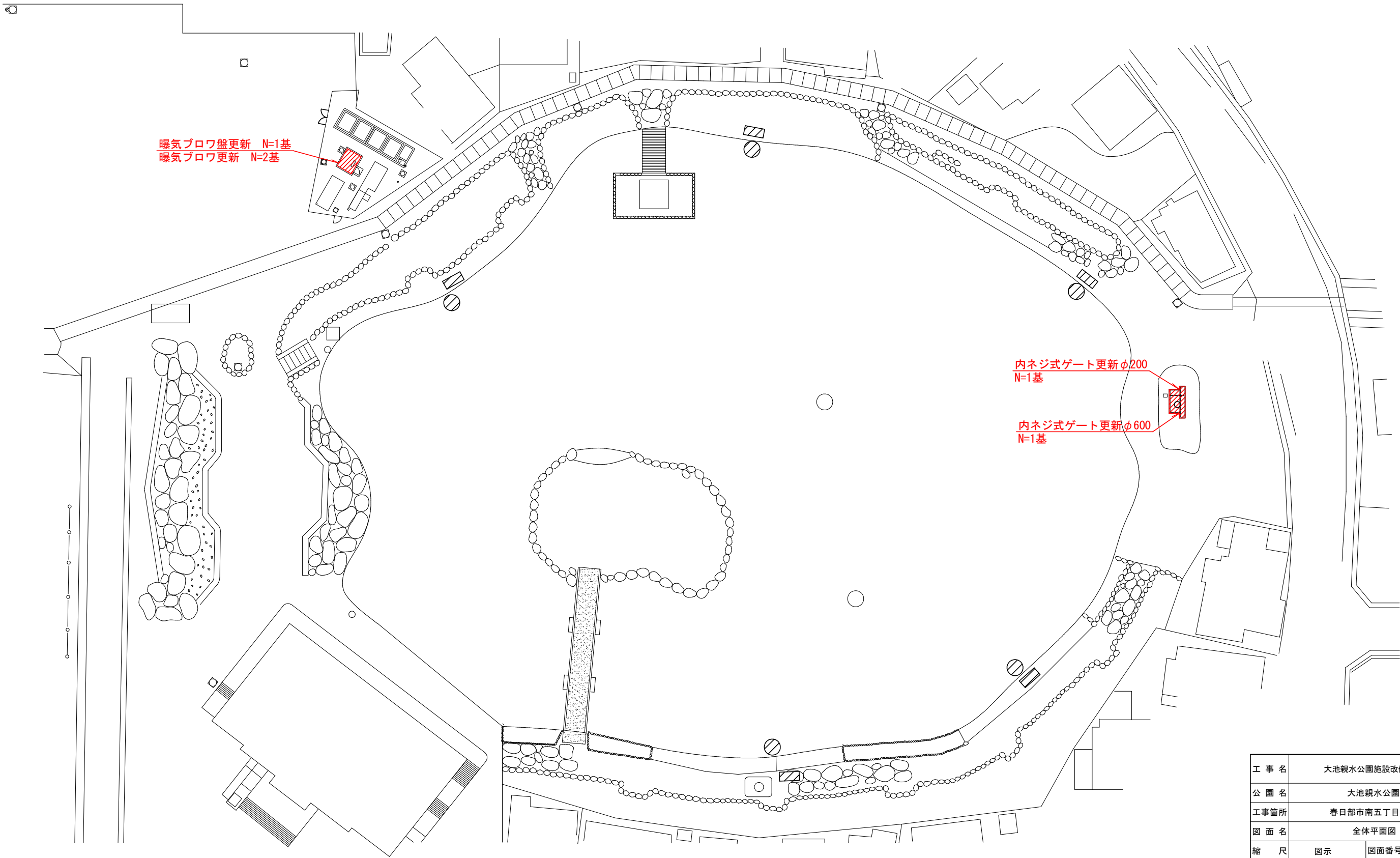
撤去 (1/ 1)

拾い出し根拠表

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
R 1001	曝気ブロワ盤	No. 1曝気ブロワ	600V CV 3.5 sq - 3 c	P&D	0.3	(0.3)
				RACK		
				CP	1.1	(0.5)+ (0.2)+ 0.2 + (0.2)
				FEP		
				CP		
			G 22 mm	露出	0.6	(0.2)+ 0.2 + (0.2)
R 1002	曝気ブロワ盤	No. 1曝気ブロワ	IV 3.5 sq	埋込		
				P&D	0.3	(0.3)
				RACK		
				CP	1.1	(0.5)+ (0.2)+ 0.2 + (0.2)
				FEP		
				CP		
R 1003	曝気ブロワ盤	No. 2曝気ブロワ	600V CV 3.5 sq - 3 c	露出		
				埋込		
				P&D	0.3	(0.3)
				RACK		
				CP	1.1	(0.5)+ (0.2)+ 0.2 + (0.2)
				FEP		
R 1004	曝気ブロワ盤	No. 2曝気ブロワ	IV 3.5 sq	CP		
				露出		
				埋込		
			G 22 mm	露出	0.6	(0.2)+ 0.2 + (0.2)
				埋込		
R 1005	曝気ブロワ盤	-	IV 2 sq	P&D		
				RACK		
				CP	8.6	(1.5)+ 0.3 + (0.4)+ 0.6 + 1.9 + (1.3)+ 1.3 + (1.3)
				FEP		
				CP		
			PF 16 mm	露出	7.1	0.3 + (0.4)+ 0.6 + 1.9 + (1.3)+ 1.3 + (1.3)
				埋込		

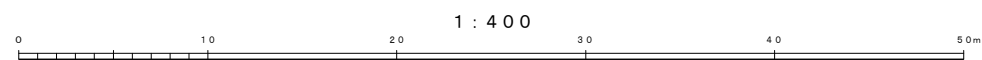
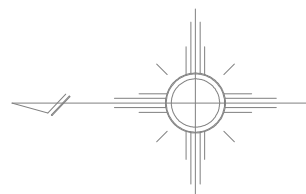
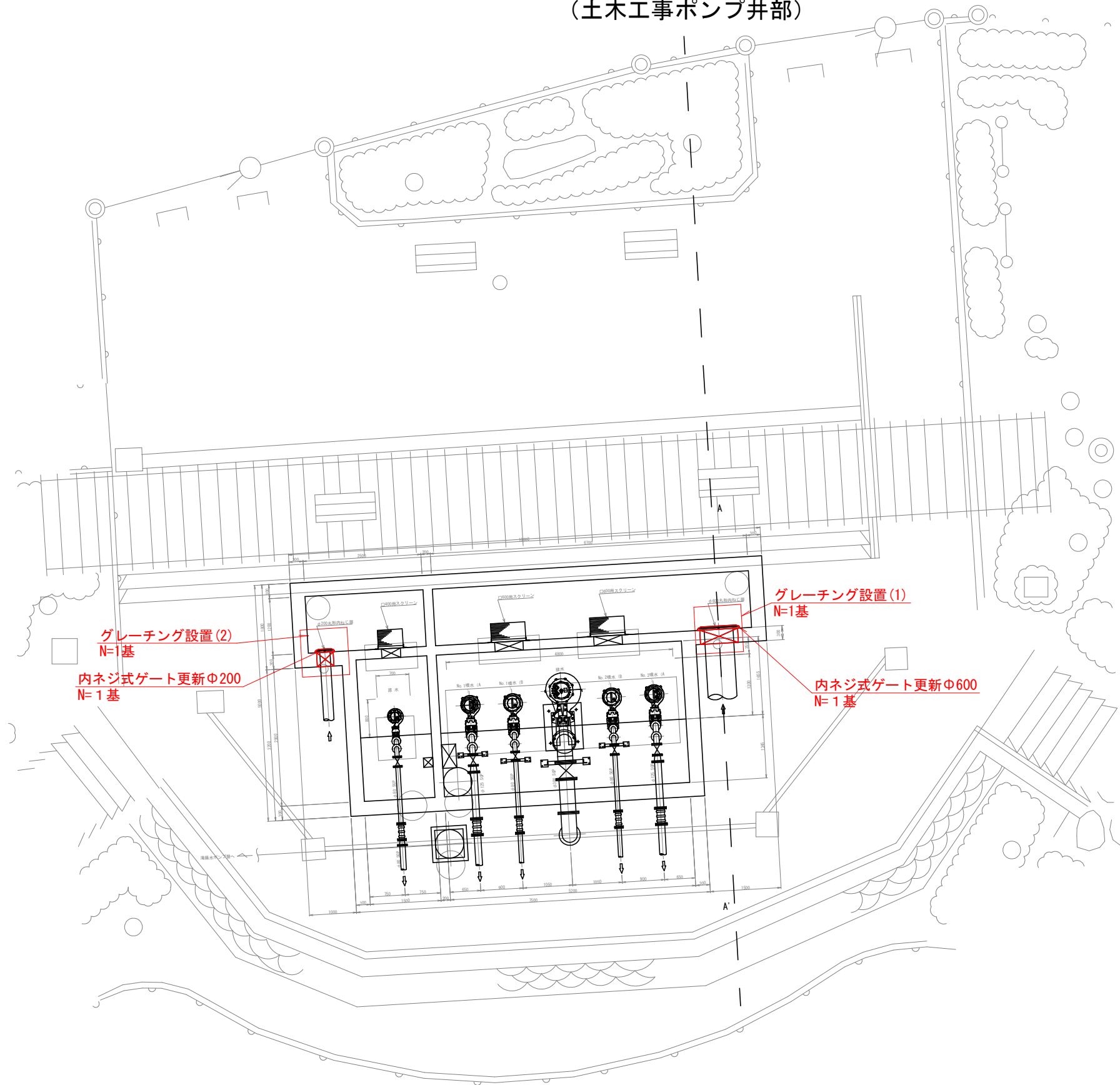
大池親水公園全体平面図 S=1/NONE

今回施工範囲



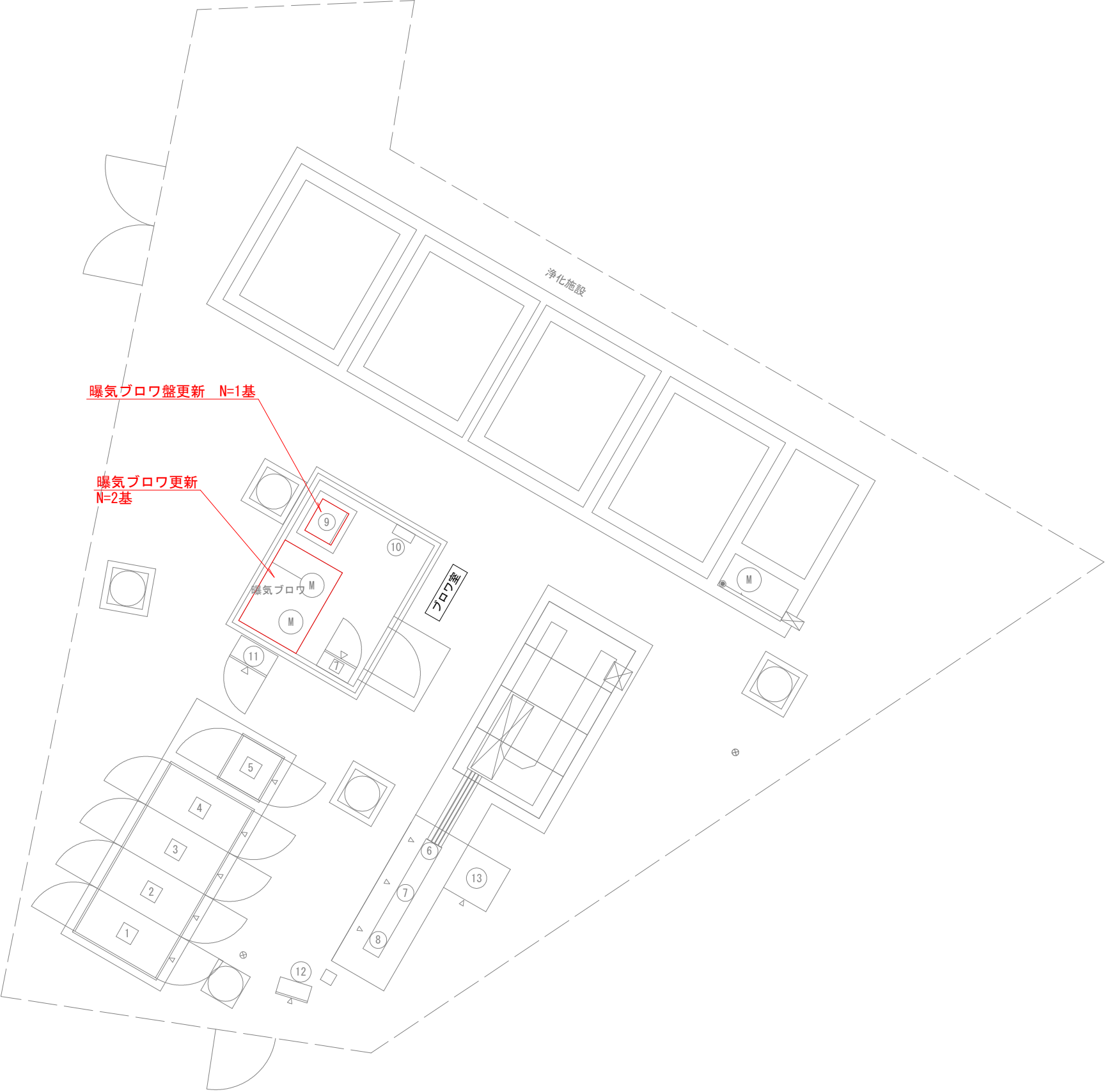
工 事 名	大池親水公園施設改修工事		
公 園 名	大池親水公園		
工事箇所	春日部市南五丁目地内		
図 面 名	全体平面図		
縮 尺	図示	図面番号	1
春日部市 建設部 公園緑地課			

詳細平面図（１）
（土木工事ポンプ井部）



工 事 名	大池親水公園施設改修工事		
公 園 名	大池親水公園		
工事箇所	春日部市南五丁目地内		
図 面 名	詳細平面図（１）（土木工事ポンプ井部）		
縮 尺	図示	図面番号	2
春日部市 建設部 公園緑地課			

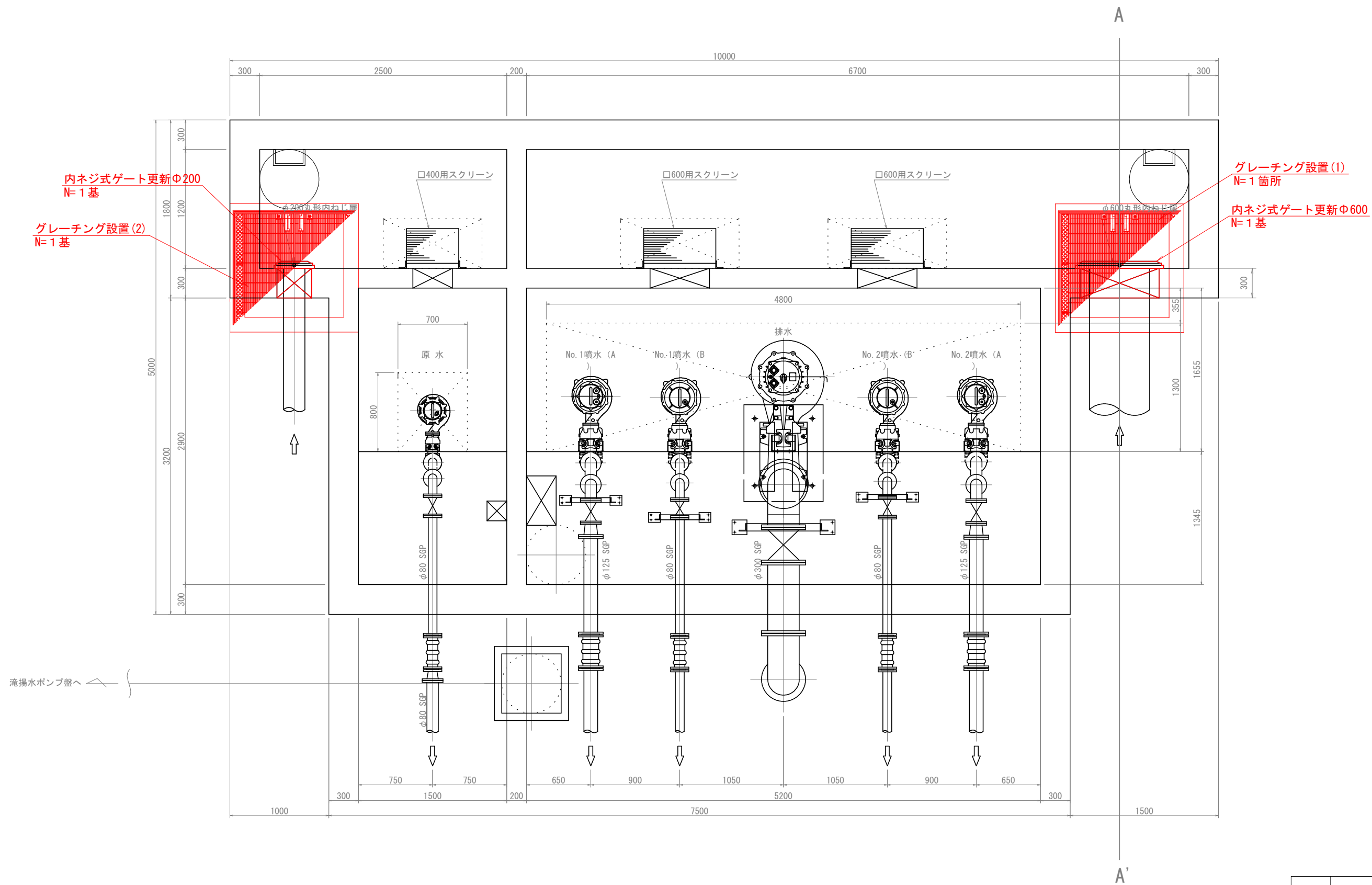
詳細平面図（2） S=1／NONE
（機械・電気工事ブロワ室部）



機器名称表		
番号	名 称	備 考
①	高圧引込盤	
②	受電盤	
③	動力変圧器主幹盤	
④	照明変圧器主幹盤	
⑤	公園動力照明分電盤	
⑥	排水ポンプ盤	
⑦	No. 1噴水ポンプ盤	
⑧	No. 2噴水ポンプ盤	
⑨	曝気ブロワ盤、曝気ブロワ	更 新
⑩	照明電灯分電盤	
⑪	揚水ポンプ盤	
⑫	屋外計量器箱	
⑬	水流発生装置制御盤	

工 事 名	大池親水公園施設改修工事		
公 園 名	大池親水公園		
工事箇所	春日部市南五丁目地内		
図 面 名	詳細平面図（2）（機械・電気工事ブロワ室部）		
縮 尺	図示	図面番号	3
春日部市 建設部 公園緑地課			

ポンプ井部詳細図 A3:S=1/40

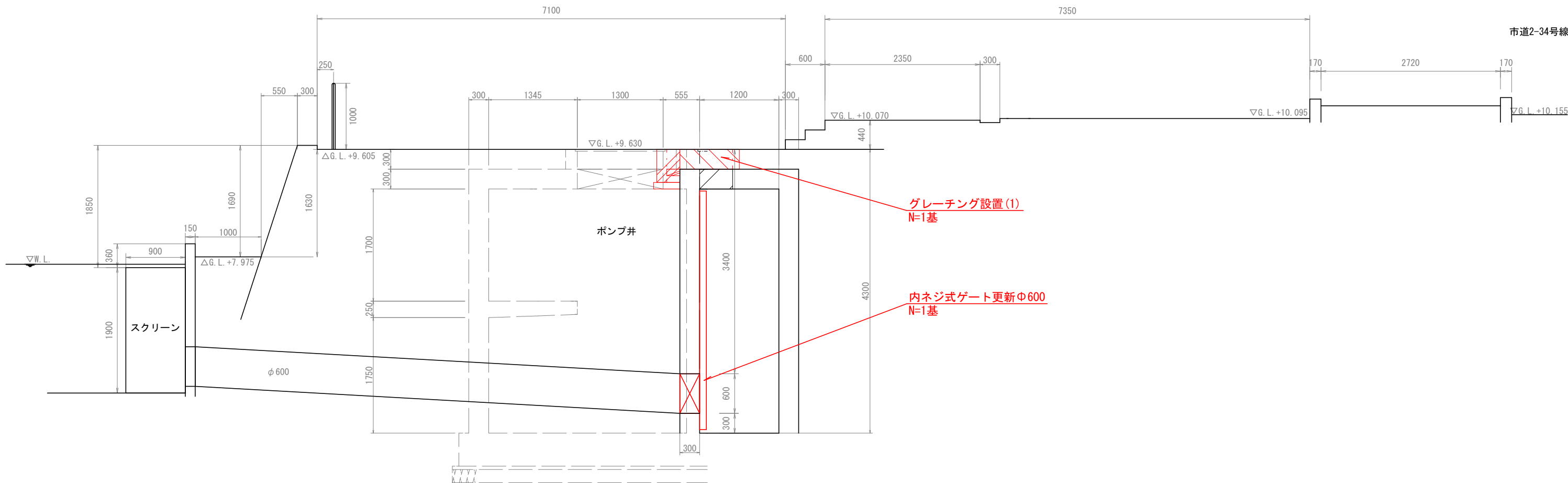


工 事 名	大池親水公園施設改修工事		
公 園 名	大池親水公園		
工事箇所	春日部市南五丁目地内		
図 面 名	ポンプ井詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	4
春日部市 建設部 公園緑地課			

標準断面図（ポンプ井部）

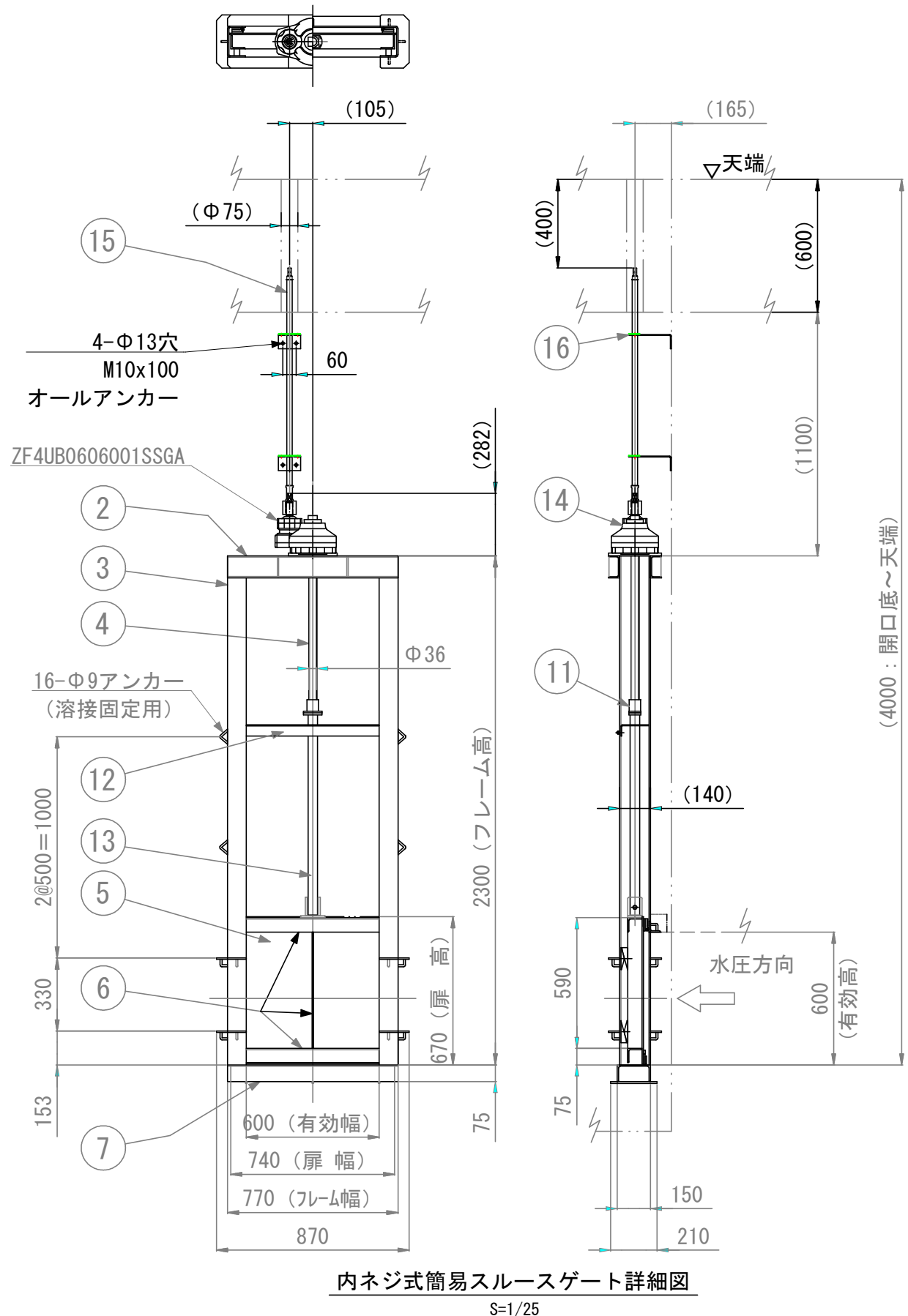
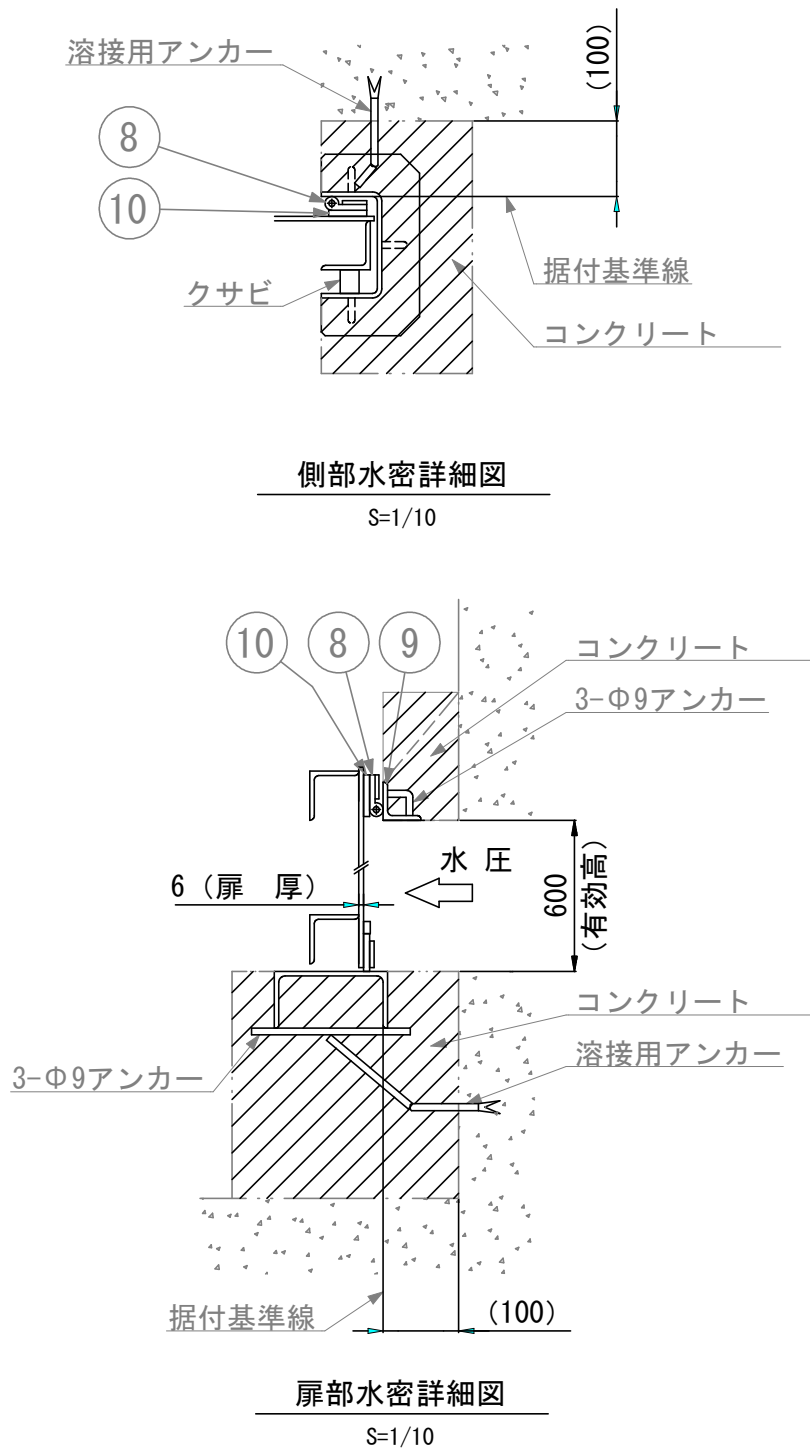
A3:S=1/60

(A-A' 断面)

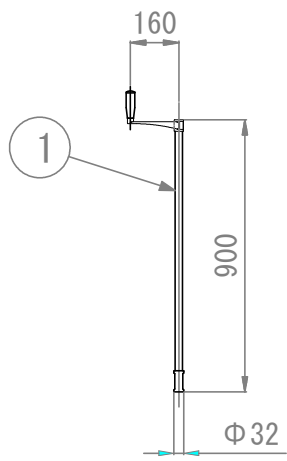


工 事 名	大池親水公園施設改修工事		
公 園 名	大池親水公園		
工事箇所	春日部市南五丁目地内		
図 面 名	標準断面図（ポンプ井部）		
縮 尺	図示	図面番号	5
春日部市 建設部 公園緑地課			

構造図(1) (内ネジ式ゲート更新Φ600)



番号	名 称	数量	材 質
1	脱着式 延長ハンドル	1	SCS/SUS
2	上部フレーム	2	SUS304 [100x50x5
3	側部フレーム	2	SUS304 PL-6.0
4	スピンドル	1	SUS304
5	扉 体	1	SUS304 PL-6.0
6	扉体補強棧	5	SUS304 L65x6/PL-6
7	下部フレーム	1	SUS304 [150x75x6.0
8	止水P型ゴム	3	C R
9	上部戸当り	1	SUS304 L50x50x6.0
10	止水平型ゴム	4	C R
11	フランジナット	1	CAC406
12	中間軸受	1	SUS304 PL-4.0
13	中間パイプ	1	SUS304 TP-A 42.7x2t
14	内ネジ式ベベル式 巻上機 減速比3:1	1	FC
15	延長パイプ	1	SUS304 TP-A 25x1.5t
16	振れ止め金具	2	SUS304 PL-4.0



脱着式延長ハンドル詳細図
S=1/25

扉体材質 : SUS304
フレーム材質 : SUS304

塗 装

材質がFCの場合の塗装は、塩化ゴム系塗料 シルバー とする。

据 付

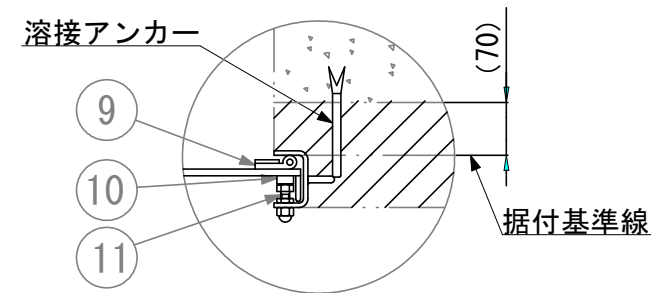
本体アンカーと溶接用アンカーを溶接固定後、
コンクリート等で止水処理を施すものとする。

注意事項

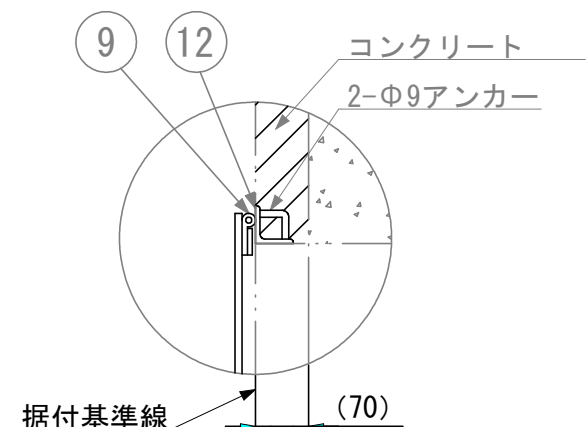
本体に直接溶接をとらないこと。

工 事 名	大池親水公園施設改修工事		
公 園 名	大池親水公園		
工事箇所	春日部市南五丁目地内		
図 面 名	構造図(1) (内ネジ式ゲート更新Φ600)		
縮 尺	図示	図面番号	7
春日部市 建設部 公園緑地課			

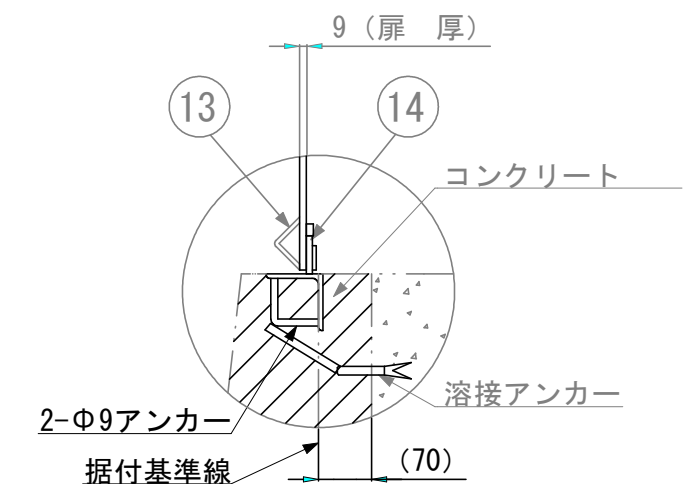
構造図(2) (内ネジ式ゲート更新Φ200)



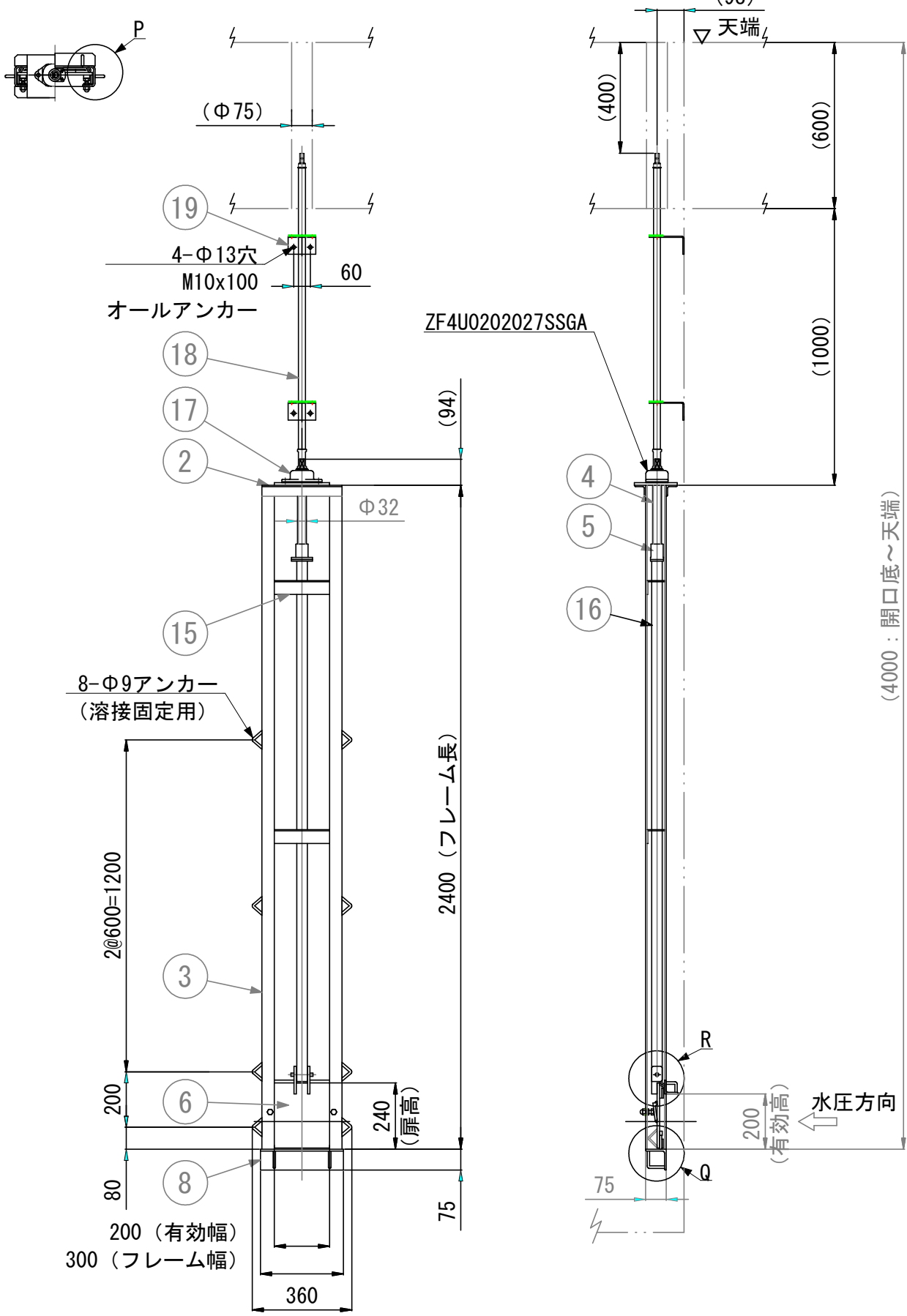
P部詳細図
S=1/10



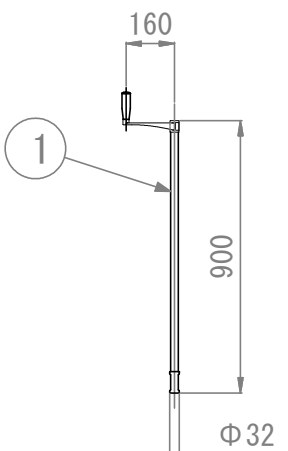
R部詳細図
S=1/10



Q部詳細図
S=1/10



内ネジ式簡易スルースゲート詳細図
S=1/20



脱着式延長ハンドル詳細図
S=1/25

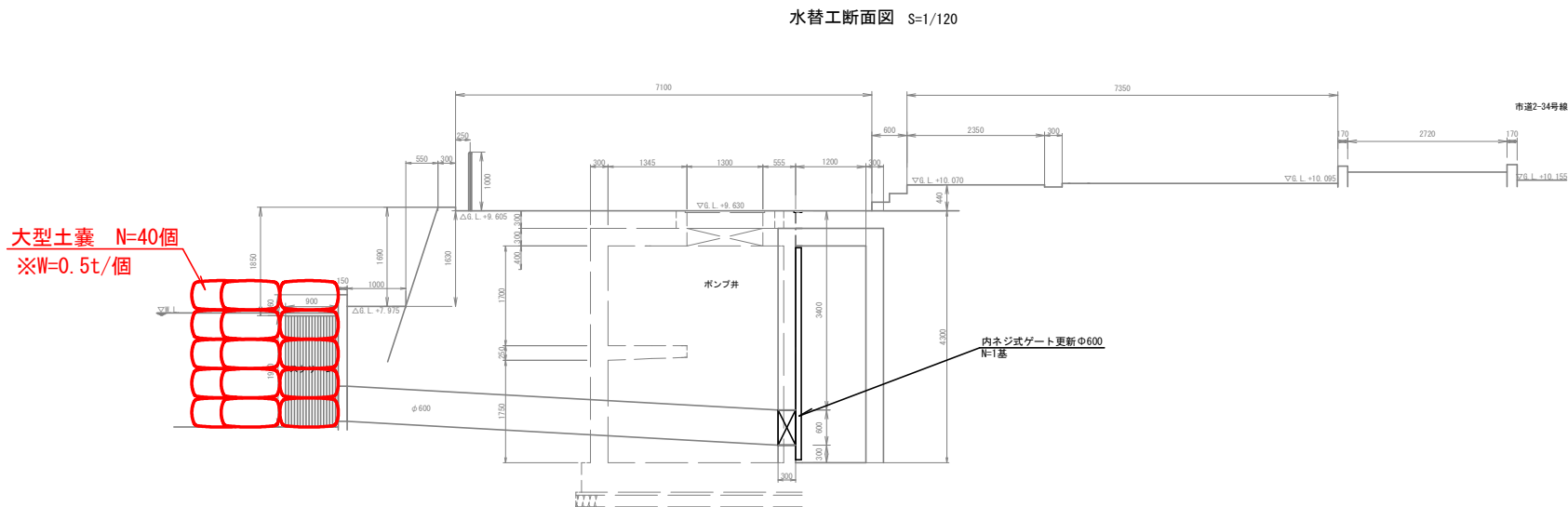
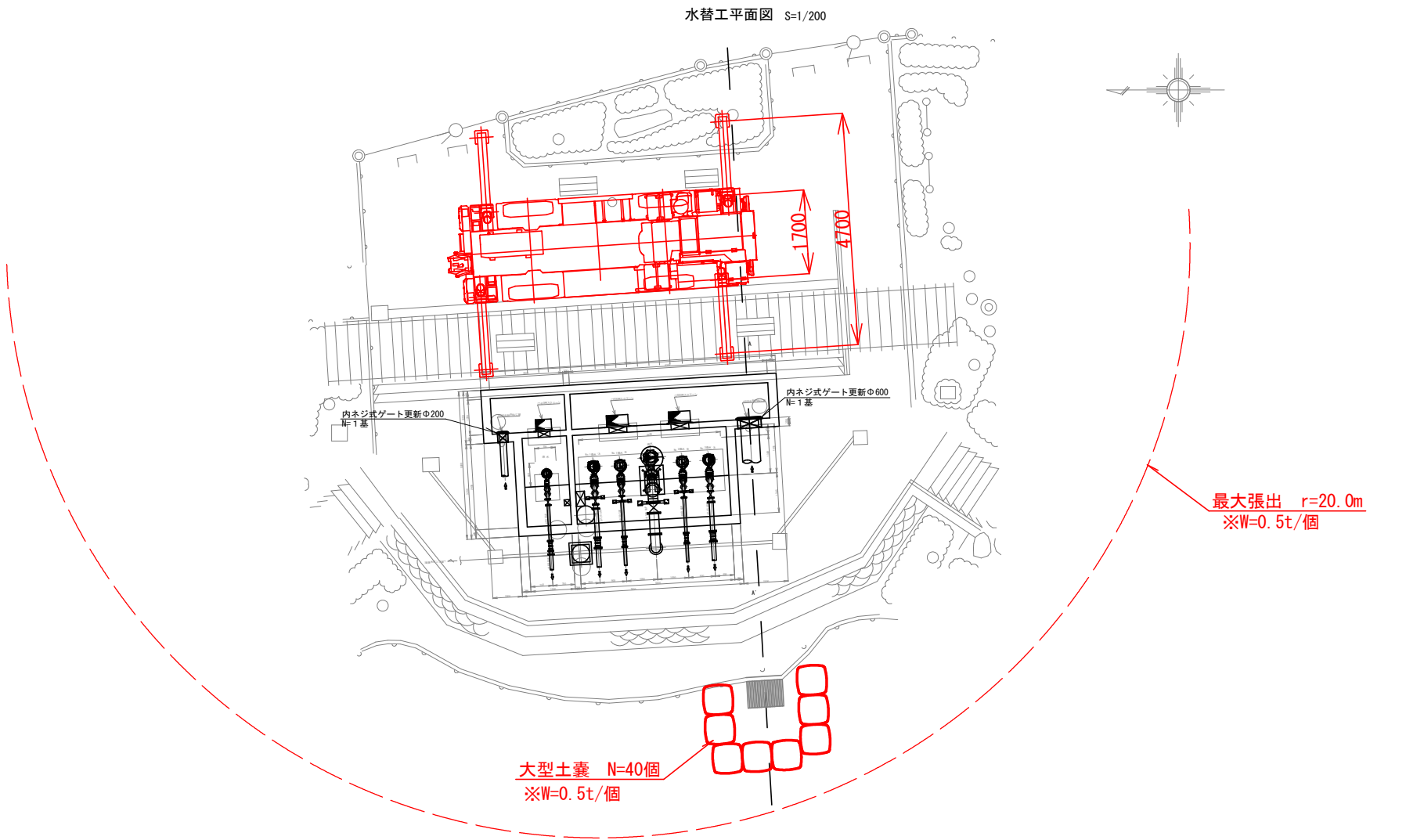
扉体材質 : SUS304
フレーム材質 : SUS304

番号	名 称	数 量	材 質
1	脱着式延長 ハンドル	1	SCS/SUS
2	上部フレーム	2	SUS304 L40x40x5.0
3	側部フレーム	2	SUS304 PL-6.0
4	スピンドル	1	SUS304
5	フランジナット	1	CAC403
6	扉 体	1	SUS304 PL-9.0
-	-	-	-
8	下部フレーム	1	SUS304 L75x75x6.0
9	止水P型ゴム	3	CR
10	クサビ	2	SUS304
11	クサビボルト	2	C2700W
12	上部戸当り	1	SUS304 L50x50x6.0
13	扉振れ止め	2	SUS304
14	止水平型ゴム	1	CR
15	中間振れ止め	2	SUS304 PL-4.0
16	中間パイプ	1	SUS304 TP-A 38x2t
17	内ネジ式巻上機 減速比1:1	1	SCS13
18	延長パイプ	1	SUS304 TP-A 25x1.5t
19	振れ止め金具	2	SUS304 PL-4.0

- 塗 装**
材質がFGの場合の塗装は、塩化ゴム系塗料 シルバー とする。
- 据 付**
本体アンカーと溶接用アンカーを溶接固定後、
コンクリート等で止水処理を施すものとする。
- 注意事項**
本体に直接溶接をとらないこと。

工 事 名	大池親水公園施設改修工事
公 園 名	大池親水公園
工事箇所	春日部市南五丁目地内
図 面 名	構造図(2) (内ネジ式ゲート更新Φ200)
縮 尺	図示
図面番号	8
春日部市 建設部 公園緑地課	

水替工参考図

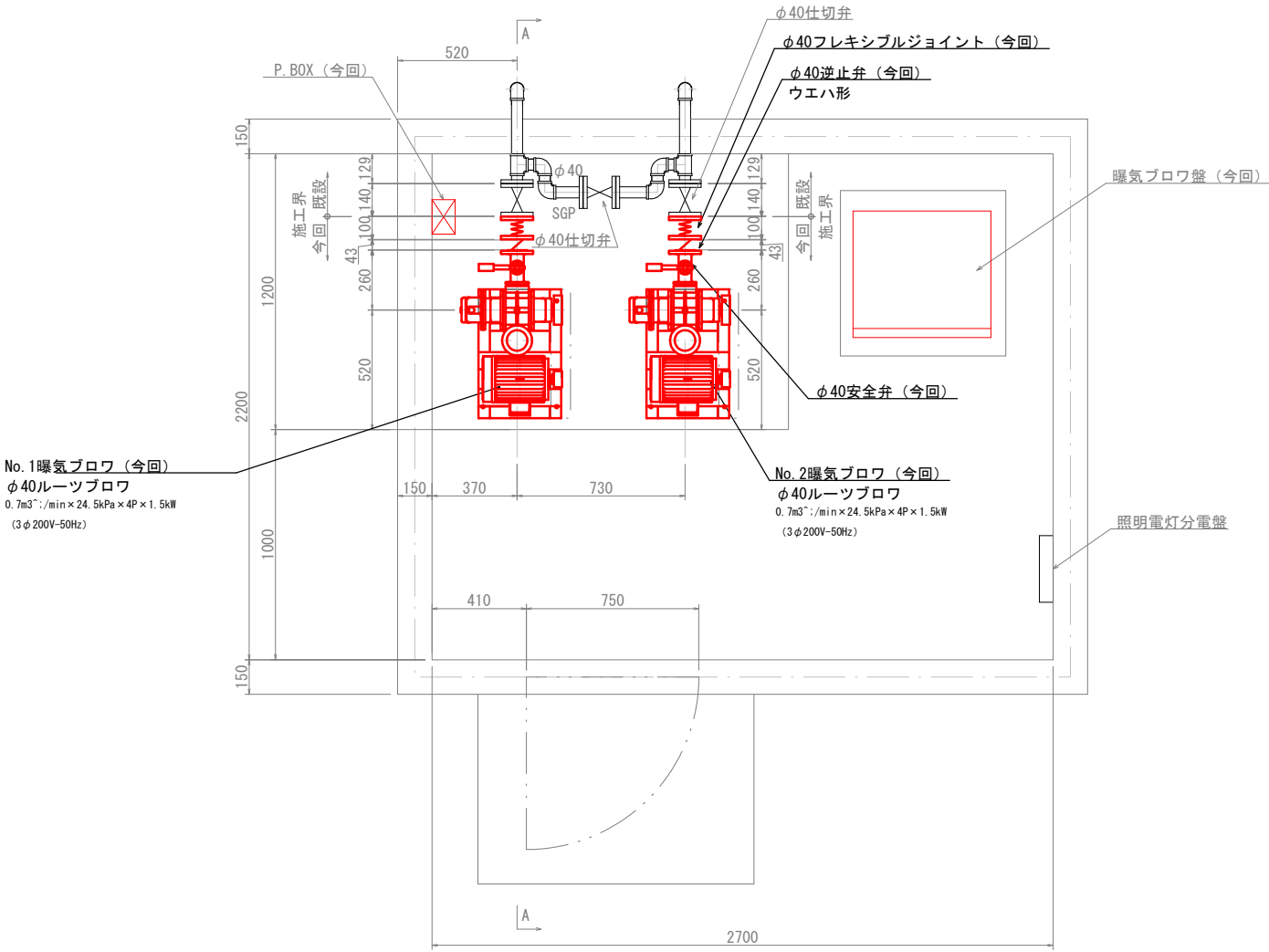


参考図

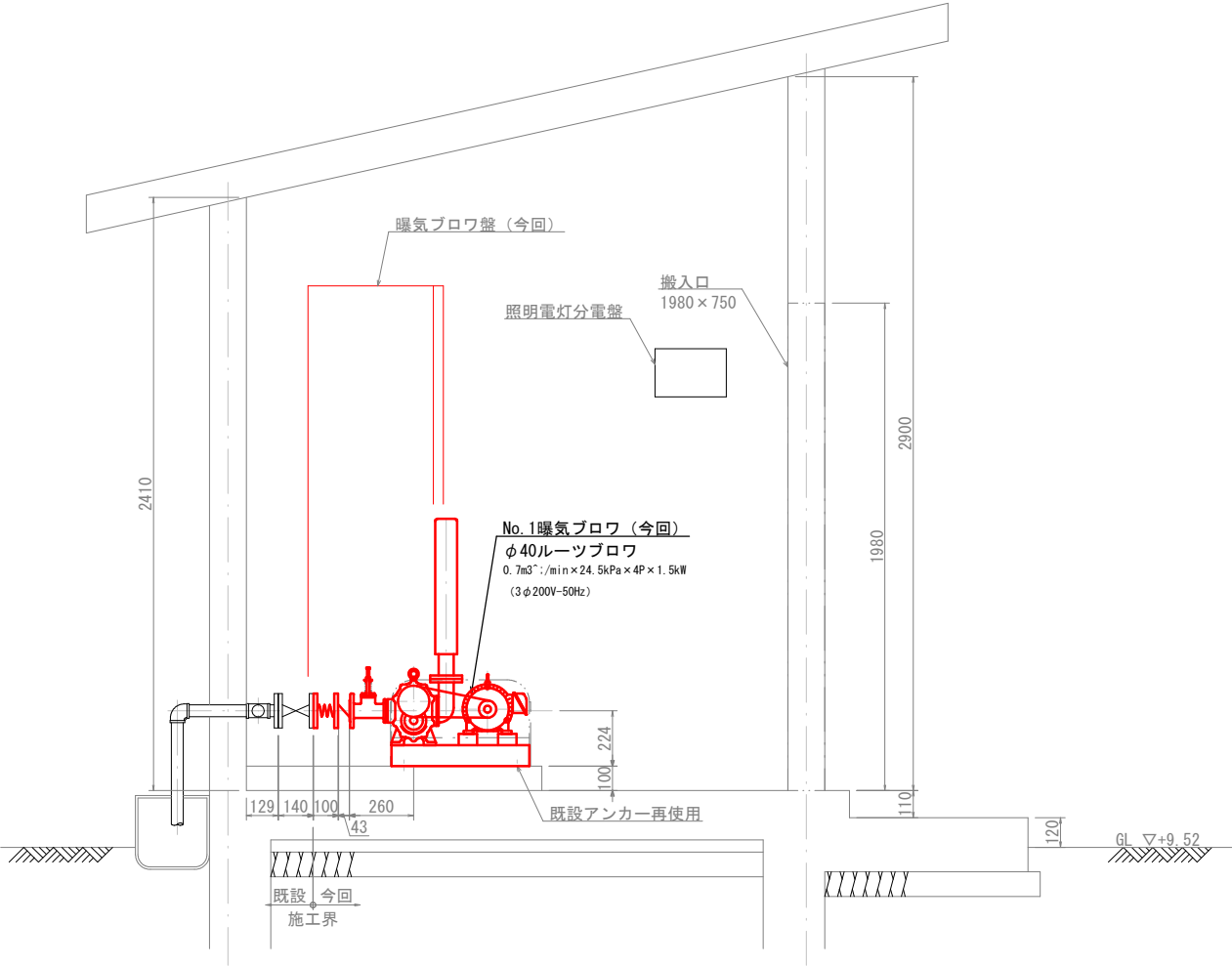
工 事 名	大池親水公園施設改修工事		
公 園 名	大池親水公園		
工事箇所	春日部市南五丁目地内		
図 面 名	水替工参考図		
縮 尺	図示	図面番号	9
春日部市 建設部 公園緑地課			

曝気ブロウ詳細図 S=1/30

平面図



A-A断面図

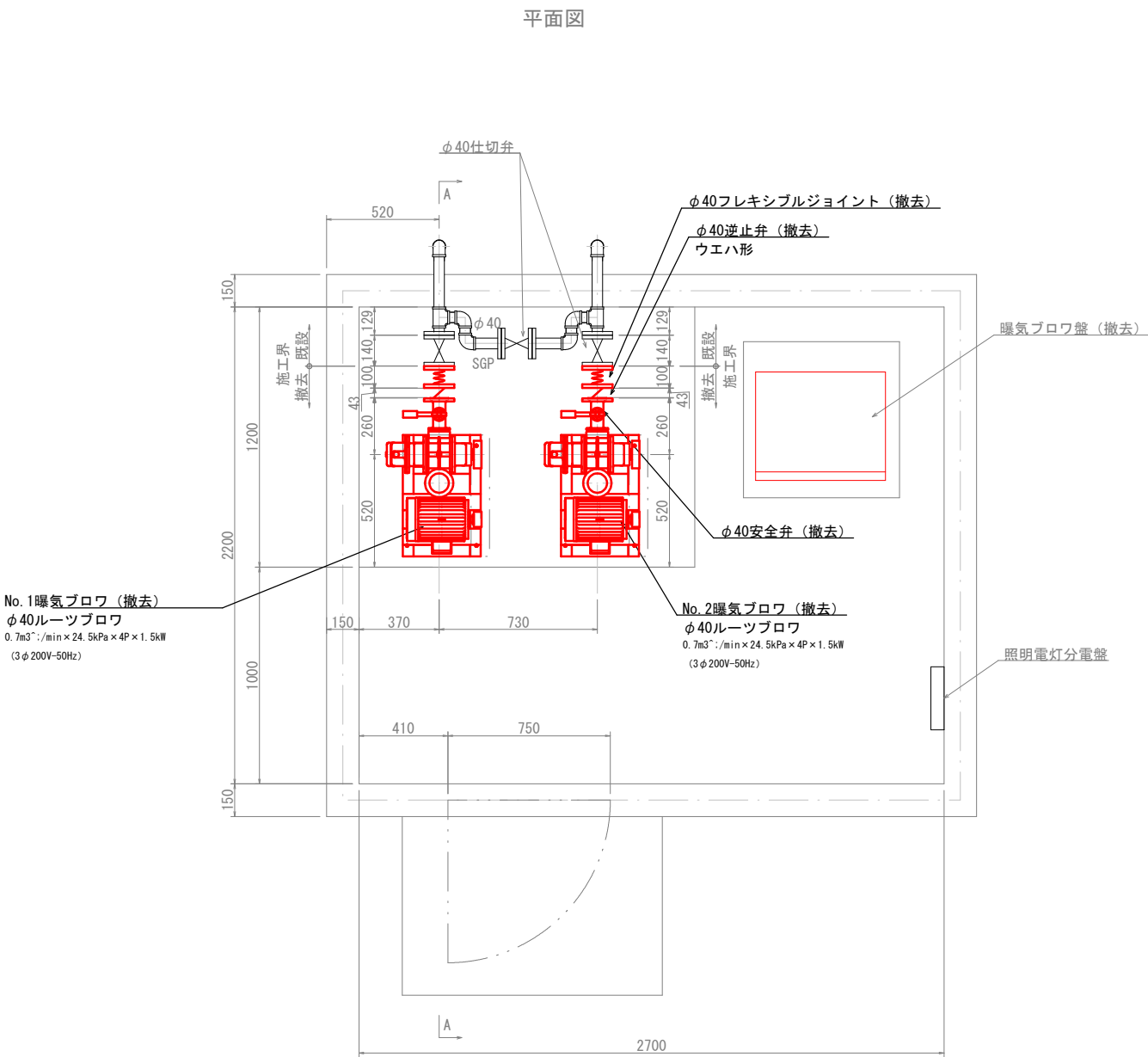


注記)
1. フランジ規格はJIS10Kフランジとする

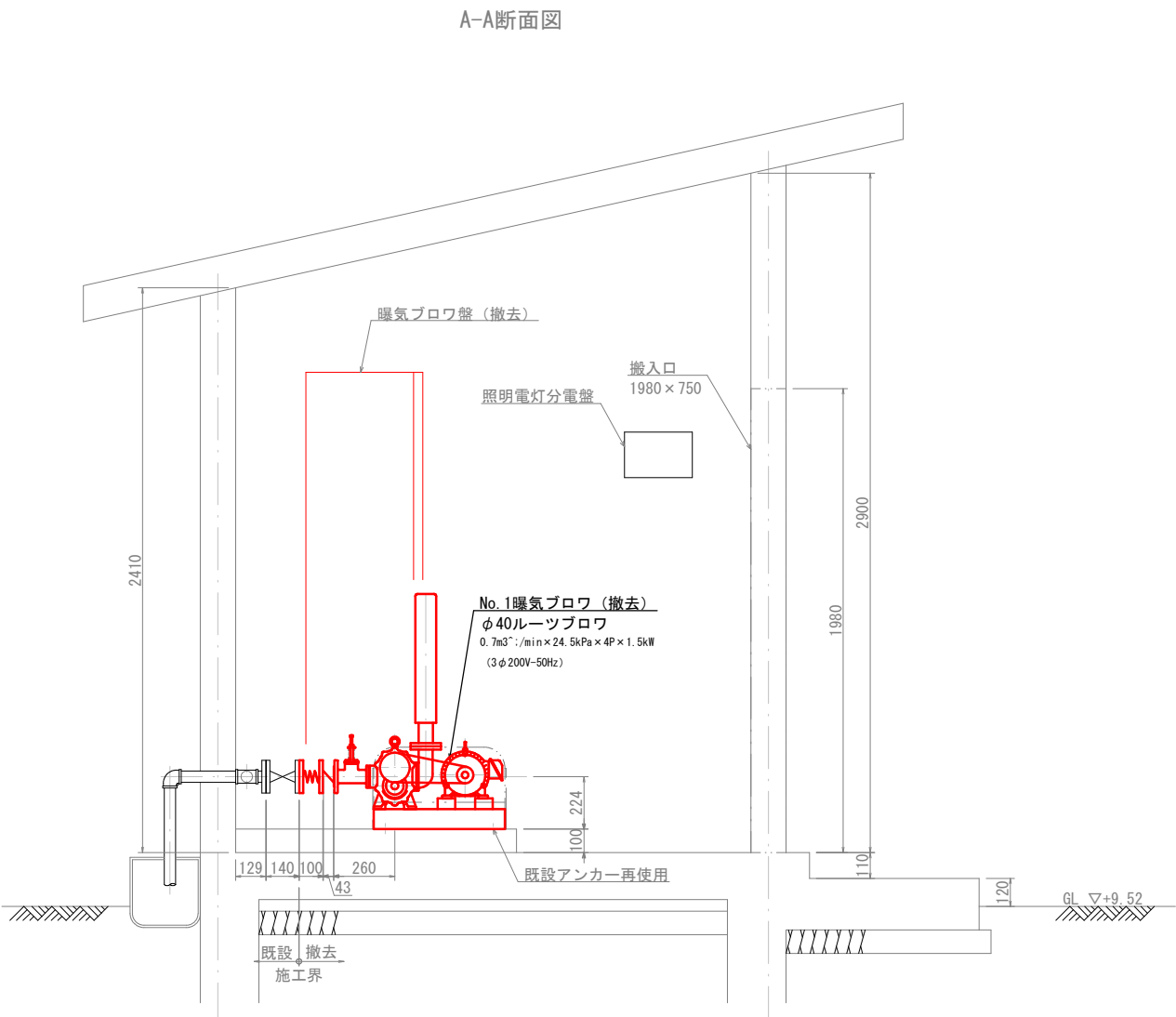
工 事 名	大池親水公園施設改修工事		
公 園 名	大池親水公園		
工事箇所	春日部市南五丁目地内		
図 面 名	曝気ブロウ詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	10
春日部市 建設部 公園緑地課			

曝気ブロワ撤去詳細図 S=1/30

平面図



A-A断面図



工 事 名	大池親水公園施設改修工事		
公 園 名	大池親水公園		
工事箇所	春日部市南五丁目地内		
図 面 名	曝気ブロワ撤去詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	11
春日部市 建設部 公園緑地課			

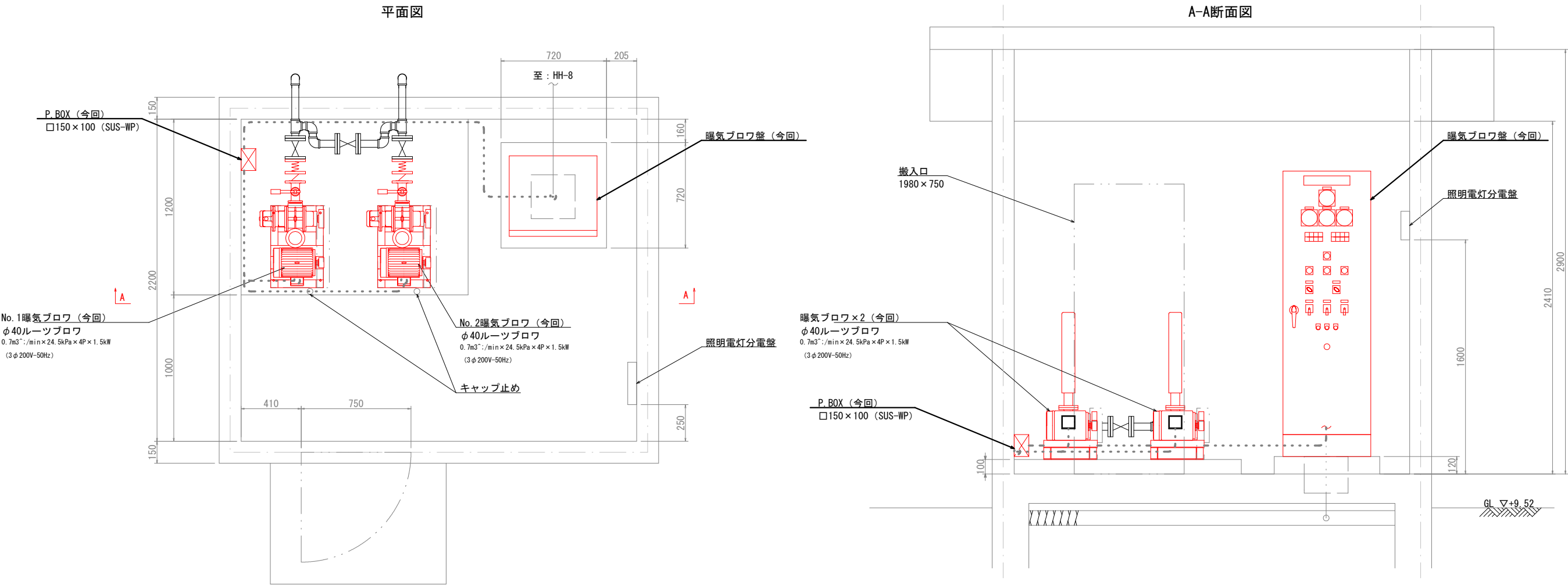
電気設備更新配置図 S=1/80



機器名称表		
番号	名 称	備 考
①	高圧引込盤	
②	受電盤	
③	動力変圧器主幹盤	
④	照明変圧器主幹盤	
⑤	公園動力照明分電盤	
⑥	排水ポンプ盤	
⑦	No. 1噴水ポンプ盤	
⑧	No. 2噴水ポンプ盤	
⑨	曝気ブロウ盤 曝気ブロウ	今回
⑩	照明電灯分電盤	
⑪	揚水ポンプ盤	
⑫	屋外計量器箱	
⑬	水流発生装置制御盤	

工 事 名	大池親水公園施設改修工事		
公 園 名	大池親水公園		
工事箇所	春日部市南五丁目地内		
図 面 名	電気設備更新配置図		
縮 尺	図示	図面番号	12
春日部市 建設部 公園緑地課			

ブロワ室 電気設備更新図 S=1/30



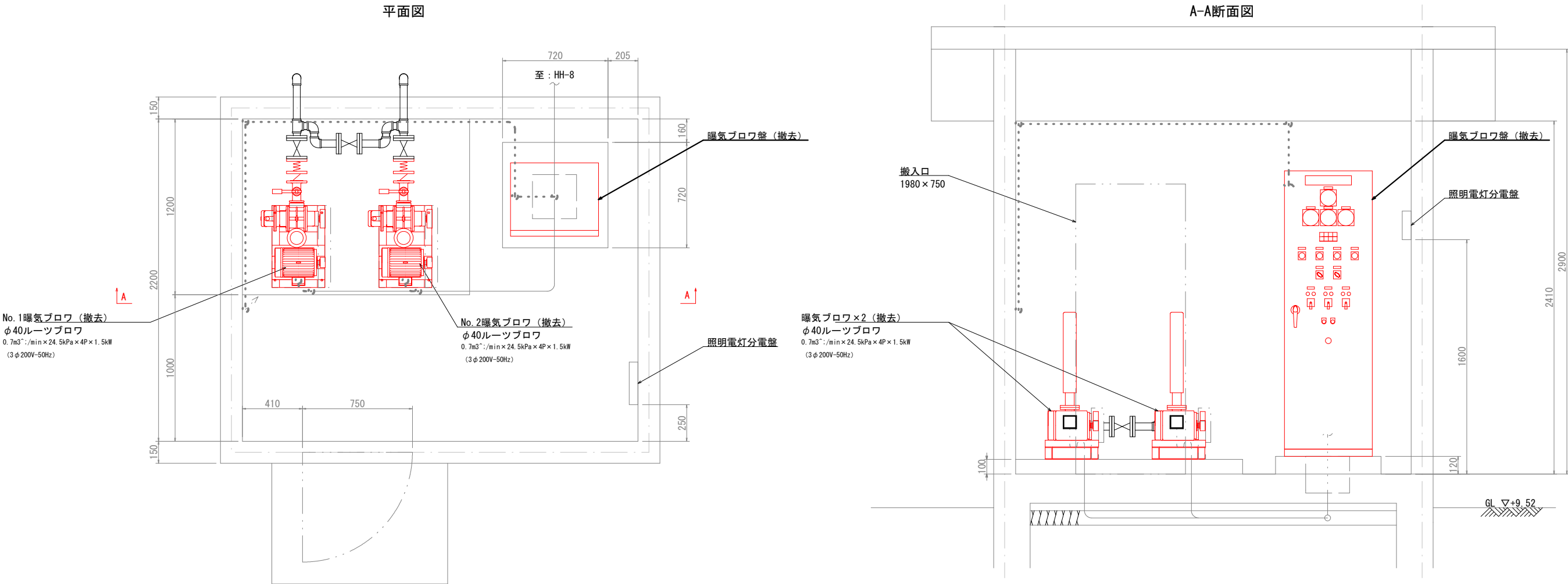
- 注記)
- 1. 赤線部は、今回施工範囲とする
 - 2. その他は、既設流用とする
 - 3. 電線管切断部は、キャップ止めを施すこと

自	至	配線仕様		接地線	電線管	電路	備考
		種別・サイズ・芯数・本数					
公園動力照明主幹盤	曝気ブロワ盤	600V EM-CE 8sq-3c (既設流用)		IE 5.5sq (既設流用)		FEP 50 (既設流用)	
曝気ブロワ盤	No. 1曝気ブロワ	600V EM-CE 3.5sq-3c		IE 3.5sq	G 36※2, G 28※3		※1
"	No. 2曝気ブロワ	600V EM-CE 3.5sq-3c		IE 3.5sq	G 28※3		※1
"	処理水ポンプ	600V CV 3.5sq-3c (既設流用)				FEP 50 (既設流用)	
"	処理水槽電極	CVV 2sq-4c (既設流用)					
"	排水ポンプ盤	CVV 2sq-6c (既設流用)					

※1 配線、配管埋設部は残置とする。
※2 電線管敷設範囲は、曝気ブロワ盤～P. BOX間とする。
※3 電線管敷設範囲は、P. BOX～曝気ブロワ間とする。

工 事 名	大池親水公園施設改修工事		
公 園 名	大池親水公園		
工事箇所	春日部市南五丁目地内		
図 面 名	ブロワ室 電気設備更新図		
縮 尺	図示	図面番号	13
春日部市 建設部 公園緑地課			

ブロワ室 電気設備撤去図 S=1/30



- 注記)
- 赤線部は、撤去範囲とする
 - その他は、既設流用とする
 - 電線管切断部は、キャップ止めを施すこと

撤去配線表

自	至	配線仕様	接地線	電線管	電路	備考
		種別・サイズ・芯数・本数				
公園動力照明主幹盤	曝気ブロワ盤	600V EM-CE 8sq-3c (既設流用)	1E 5.5sq (既設流用)		FEP 50 (既設流用)	
曝気ブロワ盤	No. 1曝気ブロワ	600V CV 3.5sq-3c	1V 3.5sq	G 22		※1
"	No. 2曝気ブロワ	600V CV 3.5sq-3c	1V 3.5sq	G 22		※1
"	処理水ポンプ	600V CV 3.5sq-3c (既設流用)			FEP 50 (既設流用)	
"	処理水槽電極	CVV 2sq-4c (既設流用)				
"	排水ポンプ盤	CVV 2sq-6c (既設流用)				
"	-		1V 2sq	PF 16		

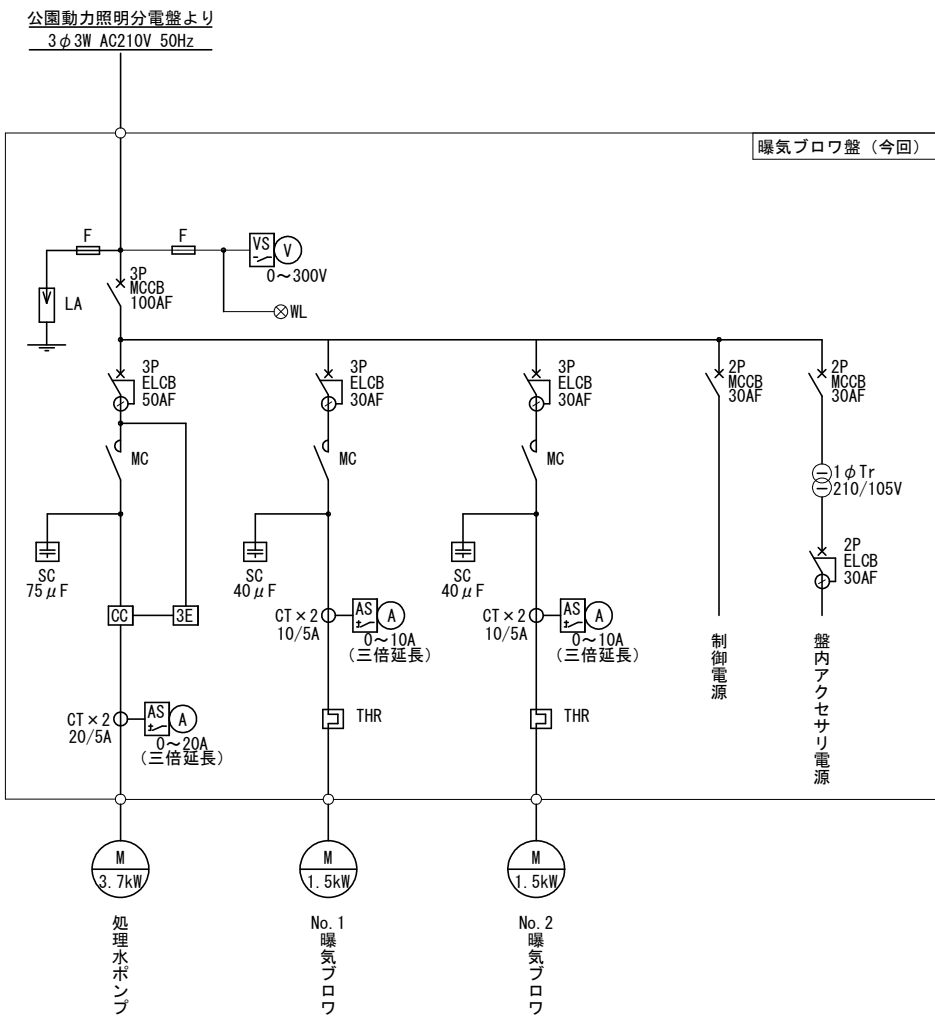
※1 配線、配管埋設部は残置とする。

工 事 名	大池親水公園施設改修工事		
公 園 名	大池親水公園		
工事箇所	春日部市南五丁目地内		
図 面 名	ブロワ室 電気設備撤去図		
縮 尺	図示	図面番号	14
春日部市 建設部 公園緑地課			

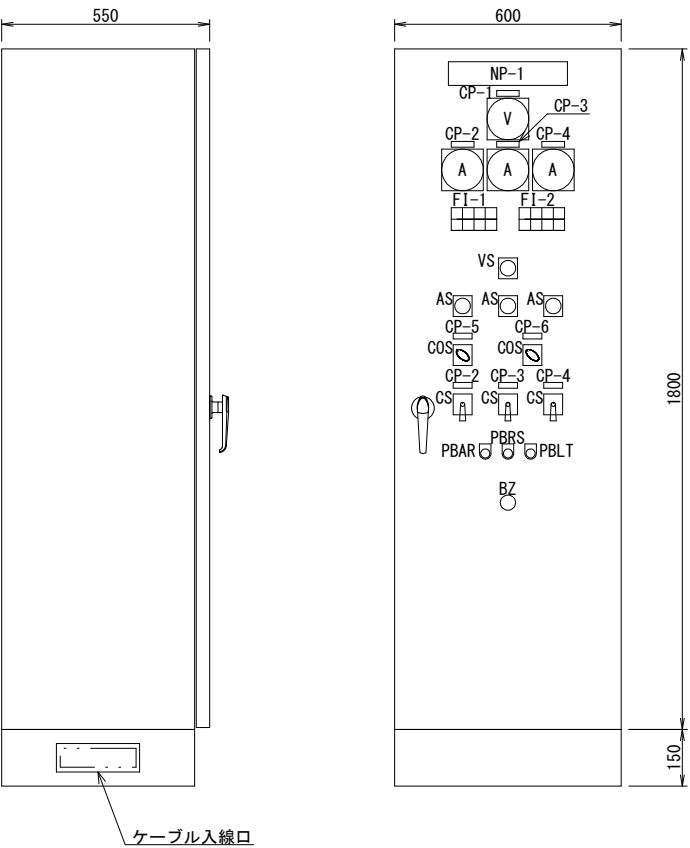
曝気ブロワ盤詳細図

S=1/NONE

単線結線図



曝気ブロワ盤外形図 A3:S=1/20



記 号	名 称	記 号	名 称
NP-1	曝気ブロワ盤	VS	切 R-S S-T T-R 切
		AS	切 R S T 切
CP-1	200V電源電圧		
CP-2	処理水ポンプ	COS	手動 - 自動
CP-3	No. 1曝気ブロワ		
CP-4	No. 2曝気ブロワ	CS	停止 - 運転
CP-5	制御切替/処理水ポンプ		
CP-6	制御切替/曝気ブロワ	PBAR	警報停止
		PBRs	故障復帰
		PBLT	ランプテスト

F1-1			
200V 電源	処理水 ポンプ 運転	No. 1 曝気ブロワ 運転	No. 2 曝気ブロワ 運転
予備	処理水 ポンプ 停止	No. 1 曝気ブロワ 停止	No. 2 曝気ブロワ 停止

F1-2			
処理水 ポンプ 漏電	No. 1 曝気ブロワ 漏電	No. 2 曝気ブロワ 漏電	処理水槽 水位高
処理水 ポンプ 過負荷	No. 1 曝気ブロワ 過負荷	No. 2 曝気ブロワ 過負荷	処理水槽 水位低

工 事 名	大池親水公園施設改修工事		
公 園 名	大池親水公園		
工事箇所	春日部市南五丁目地内		
図 面 名	曝気ブロワ盤詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	15
春日部市 建設部 公園緑地課			